

東京大学
工学系研究科

工学部概要

School of Engineering
The University of Tokyo

2026

目 次

1. 研究科長・学部長挨拶 1
2. 沿革 2
3. 組織 4
4. 教職員数 19
5. 学生数等 20
6. 国際交流 23
7. 研究活動 27
8. 財政等 31
9. 広報・情報発信 32

系教員室
Professor Rooms,
Dept. of EEICE

系研究室
Laboratories,
Dept. of EEICE

情報学環研究室
Laboratories,
Graduate School of
Interdisciplinary
Information Studies

情報工学研究室
Laboratories, Dept. of
Mechano-Informatics

工学教員室
Professor Rooms, Dept. of
Mechanical Engineering

工学研究室
Laboratories, Dept. of
Mechanical Engineering

機械情報工学教員室
Professor Rooms, Dept. of
Mechano-Informatics

機械情報工学研究室
Laboratories, Dept. of
Mechano-Informatics

機械工学研究室
Laboratories, Dept. of
Mechanical Engineering

電気系CAD室・製図板室
CAD and Drawing Boards,
Dept. of EEICE

工学・情報理工学図書館
事務室 (301)

241号 講義室
Lecture room 241

242号 講義室
Lecture room 242

243号 講義室
Lecture room 243

244号 講義室
Lecture room 244

電気系実験室
Experimental Labs,
Dept. of EEICE

電気系学生控室

1. 研究科長・学部長挨拶



「未来を創る工学」

現代社会は、気候変動、資源・エネルギー、超高齢化、感染症など、複雑で解決困難な問題に直面し続けています。このような問題の解決には、多種多様な分野における深い探究から得られた「知」、いわゆる「専門知」を基に、あるべきビジョンを描き、それを実現することが求められます。工学は、このような取り組みに大きく貢献する学問体系です。

工学がカバーする領域は、基礎科学を追究する分野、追究して得られた知の社会実装を主導する分野、新しい融合領域を開拓する分野など極めて広く、その研究・開発のスケールも多岐に亘ります。地球と人類社会にとってより良い未来を創ること、そして新しい時代を切り拓いていくことが、工学の大きな目標であり使命です。さらに、一人ひとりが多様な幸せ（ウェルビーイング）を実現できる社会を目指し、新たな価値を創造、「知の活力」を生む、いわゆる「総合知」による社会変革にも貢献します。そのためには、あらゆるレベルでの「対話と連携」が必須になってきますし、先端領域での「知の修練」が必要です。

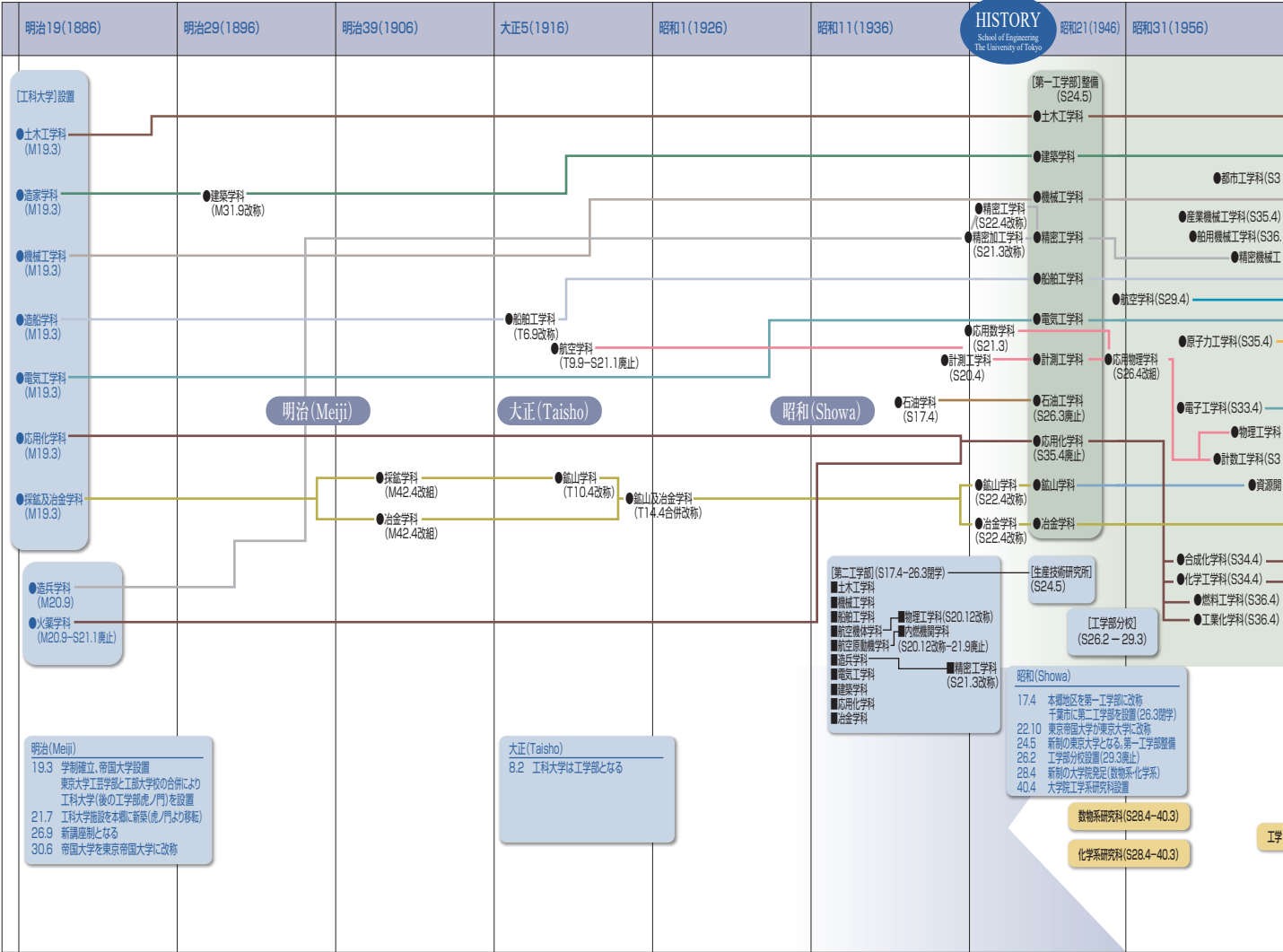
工学系研究科・工学部は高い専門性、高度な課題解決能力、リーダーシップ、国際感覚を身につけることができる、世界トップレベルの教育・研究の場を提供しています。ものづくり教育を始めとする創造力の育成、さらには、アントレプレナーシップの教育と実践にも力を入れています。また、多様性を尊重し、一人ひとりの個性を活かすインクルーシブ社会の実現に貢献すべく、性別や年齢、立場などにとらわれることなく、誰もが先進的な学問・研究を修められる環境を提供するための取り組みを進めています。

今まさに、世界は大きな変革期、激動の時代にあります。私たちと工学を学び、新たな価値を創造し、課題を解決しましょう。そして、一緒に未来を創りましょう。

東京大学大学院工学系研究科長・工学部長 津本 浩平

2. 沿革

(1) 学科・専攻の変遷

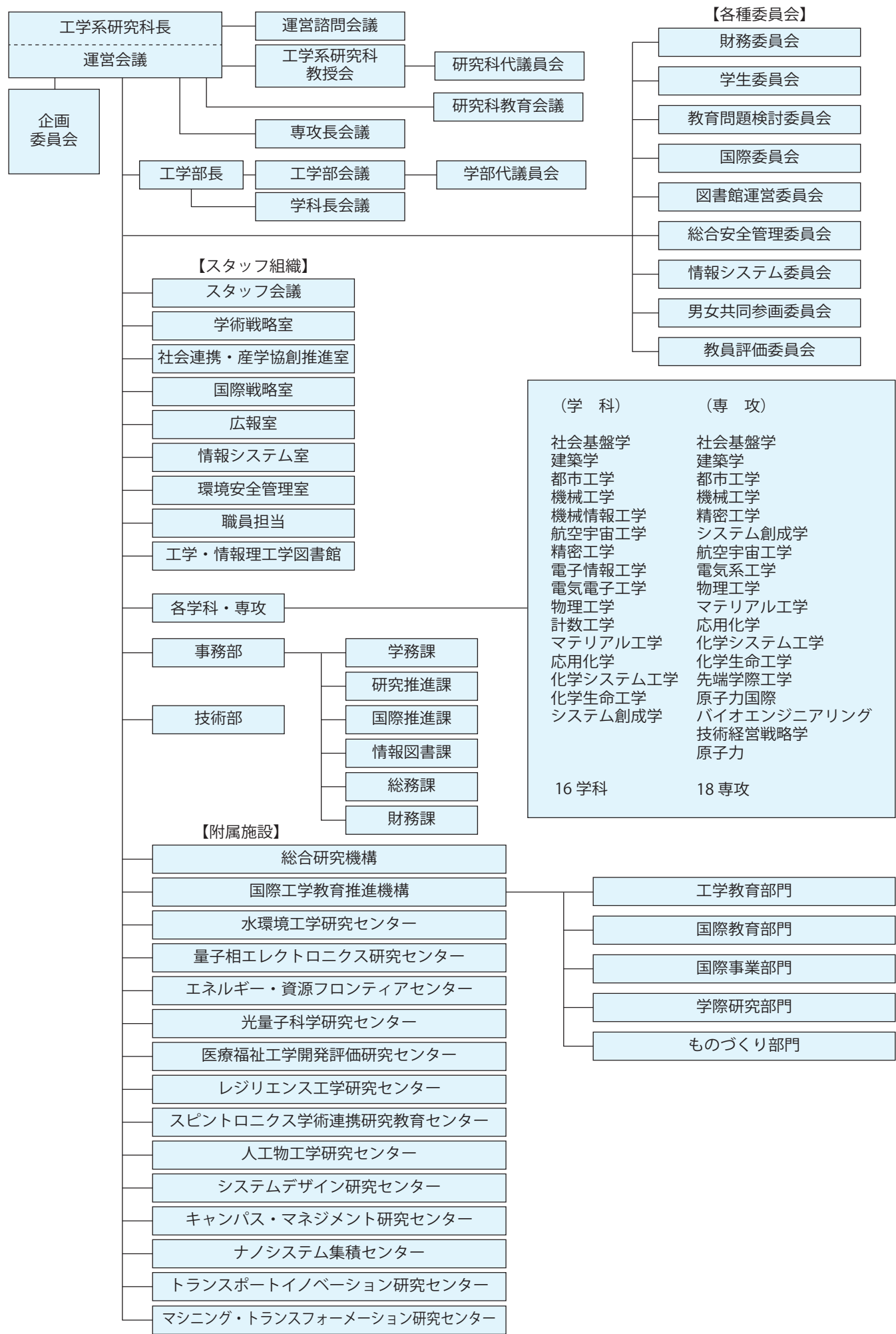


(2) 沿革

明治19(1886).3	帝国大学設置 東京大学工芸学部と工部大学校の合併により、 工科大学を設置 (7 学科)
明治30(1897).6	帝国大学を東京帝国大学に改称
大正 8 (1919).2	工科大学は工学部となる。
昭和14(1939).10	附属総合試験所設置
昭和17(1942).4	本郷地区を第一工学部改称 千葉市に第二工学部を設置
昭和22(1947).10	東京帝国大学が東京大学に改称
昭和24(1949).5	新制の東京大学となる。(11 学科) 第二工学部を母体として生産技術研究所を設置
昭和26(1951).2	工学部分校設置
昭和26(1951).3	第二工学部閉学
昭和28(1953).4	新制の大学院発足
昭和29(1954).3	工学部分校廃止
昭和40(1965).4	大学院工学系研究科設置
昭和42(1967).6	附属原子力工学研究施設設置
昭和50(1975).4	工業高等専門学校の工学部への編入制度開始
昭和56(1981).4	附属境界領域研究施設設置
昭和63(1988).3	同上 廃止
平成 4 (1992).4	大学院重点化に伴う工学系研究科の整備開始
平成 7 (1995).4	同上 整備完了 (21 学科 24 専攻 (83 大講座))
平成11(1999).4	マテリアル工学科設置
平成12(2000).4	水環境制御研究センター設置、 システム創成学科設置 (統合改組)
平成13(2001).4	量子相エレクトロニクス研究センター設置
平成14(2002).1	附属総合試験所を改組し、総合研究機構を設置
平成14(2002).4	マテリアル工学専攻設置
平成16(2004).3	附属総合試験所廃止
平成16(2004).4	国立大学法人化、「国立大学法人東京大学」となる。
平成17(2005).3	附属原子力工学研究施設廃止
平成17(2005).4	原子力国際専攻、原子力専攻 (専門職) 設置 工学教育推進機構設置 超伝導工学専攻の廃止
平成18(2006).4	精密工学科、バイオエンジニアリング専攻、技術経営 戦略学専攻設置 (18 学科 22 専攻)
平成20(2008).4	エネルギー・資源フロンティアセンター設置 電気電子工学科、システム創成学専攻及び電気系工学 専攻を設置 (統合改組) (17 学科 19 専攻)
平成21(2009).4	機械工学科、機械工学専攻を設置 (機械、産機を統合 改組) (16 学科 18 専攻)
平成22(2010).4	量子科学研究所センター設置
平成23(2011).4	工学教育推進機構を廃止し、国際工学教育推進機構を 設置
平成24(2012).4	医療福祉工学開発評価研究センター設置
平成25(2013).4	レジリエンス工学研究センター設置
平成28(2016).4	スピントロニクス学術連携研究教育センター設置
平成31(2019).4	人工物工学研究センター設置
令和 1 (2019).7	水環境制御研究センターを改組し、水環境工学研究セ ンターを設置
令和 1 (2019).10	システムデザイン研究センター設置
令和 3 (2021).4	キャンパス・マネジメント研究センター設置
令和 4 (2022).4	ナノシステム集積センター設置
令和 7 (2025).2	トランスポートイノベーション研究センター設置
令和 8 (2026).4	マシニング・トランスフォーメーション研究センター 設置

3. 組織

(1) 組織図



(2) 役職者一覧 (2026.5現在)

工学系研究科長・工学部長	
	津本 浩平
副研究科長	
	齊藤 英治
	中尾 彰宏
	石川 顕一
(事務部長)	須藤桂太郎
研究科長特別補佐	
	一木 隆範
	川原 圭博
	小熊久美子
	姫野 武洋
研究科長特別参与	
	坂田 一郎
	熊田亜紀子
	石田 哲也
研究科長特任補佐	
	脇原 徹
	小林英津子
専攻長	
社会基盤学専攻	福田 大輔
建築学専攻	伊山 潤
都市工学専攻	片山 浩之
機械工学専攻	高木 周
精密工学専攻	梅田 靖
システム創成学専攻	宮本 英昭
航空宇宙工学専攻	姫野 武洋
電気系工学専攻	竹中 充
物理工学専攻	塚崎 敦
マテリアル工学専攻	内田 建
応用化学専攻	西林 仁昭
化学システム工学専攻	杉山 弘和
化学生命工学専攻	酒井 崇匡
先端学際工学専攻	矢入 健久
原子力国際専攻	酒井 幹夫
バイオエンジニアリング専攻	伊藤 大知
技術経営戦略学専攻	西野 成昭
原子力専攻	高田 孝
学科長	
社会基盤学科	福田 大輔
建築学科	伊山 潤
都市工学科	片山 浩之
機械工学科	長藤 圭介
機械情報工学科	高橋 宏知
航空宇宙工学科	姫野 武洋
精密工学科	梅田 靖
電子情報工学科	川原 圭博
電気電子工学科	竹中 充
物理工学科	塚崎 敦
計数工学科	武田 朗子
マテリアル工学科	内田 建
応用化学科	西林 仁昭
化学システム工学科	杉山 弘和
化学生命工学科	酒井 崇匡
システム創成学科	川畑 友弥

附属施設長	
総合研究機構	柴田 直哉
国際工学教育推進機構	中尾 彰宏
水環境工学研究センター	藤田 壮
量子相エレクトロニクス研究センター	石坂 香子
エネルギー・資源フロンティアセンター	中村謙太郎
光量子科学研究センター	小芦 雅斗
医療福祉工学開発評価研究センター	小林英津子
レジリエンス工学研究センター	小宮山涼一
スピントロニクス学術連携研究教育センター	大矢 忍
人工物工学研究センター	太田 順
システムデザイン研究センター	池田 誠
キャンパス・マネジメント研究センター	安原 幹
ナノシステム集積センター	三田 吉郎
トランスポートイノベーション研究センター	青山 和浩
マシニング・トランスフォーメーション研究センター	杉田 直彦
事務部	
事務部長	須藤桂太郎
学務課長	藤田 司
研究推進課長	小川 智子
国際推進課長	菅澤 茉央
情報図書課長	前田 朗
総務課長	古牧 修
財務課長	佐藤 修
情報理工学系企画調整担当課長	野添 浩士

(3) 専攻

社会基盤学専攻

社会基盤学専攻は、国や地域に固有の自然や歴史、文化への深い理解と国際的な視野を共に備えつつ、社会基盤の整備や運営を先導できる人材の育成を目的とする。社会基盤学の領域は地盤、構造物、材料、水文、河川、海岸、環境、エネルギー、防災、国土計画、景観、都市、交通、マネジメント、国際など多岐にわたり、私たちの安全・安心で豊かな社会・生活を支える。激甚な自然災害や社会構造の急速な変化に対応しながら、社会基盤学のあり方を探求し、その知識や技術の体系化と革新に資する高度な研究を進めること、さらにそれを社会や教育へ還元することで、我が国および世界の持続的な発展に大きく貢献することを目指す。



日本語版HP



英語版HP



コンクリート実験の風景

建築学専攻

建築学専攻は、科学的・工学的・技術的領域から、人文的・芸術的・社会的領域に至る広汎な分野の知識を統合し、新時代の成熟社会にふさわしい空間・環境を形成してゆくための新しい学問体系の構築を目指すとともに、建築に係わる研究、開発、計画、設計、生産、経営、政策提案などを、責任を持って担うことのできる人材を育成する。また、新たな価値の創造と技術革新に繋がる研究へと世界的スケールで積極果敢に挑戦し、人類社会の持続と発展に貢献することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



デジタル技術を駆使して建築・空間の新たな価値を創造する

都市工学専攻

都市工学専攻は、都市工学に関する体系的な知識とその応用技術を身に付け、都市計画、都市デザイン、都市解析、都市防災、国際都市・地域計画、都市交通、まちづくり、環境デザイン、水環境、上下水道システム、衛生工学、下水疫学、環境リスク、気候変動、エネルギー、資源循環、廃棄物管理、サステイナビリティ、などに関する専門家として活躍できる人材を育成する。



日本語版HP



英語版HP



多様なアプローチをつうじて持続可能な都市を創る

機械工学専攻

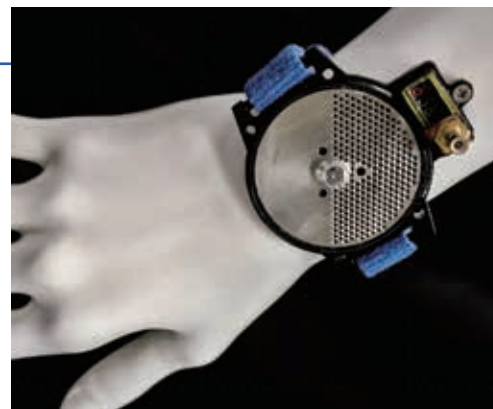
機械工学専攻では、基盤となる機械力学、材料力学、流体力学、熱力学に加えて、デザイン、ものづくり技術、エネルギー、ロボット、情報、バイオ・医療など総合的な機械工学の学問体系の研究と教育を担っている。そして、技術・人間・社会・環境などの総合的視野に立って、産業界や海外との連携も行いながら、「ものを造り、価値を生み出す」ことを追求している。時代の要請に応える優れた人工物と新たな産業の創造に貢献する、指導的な研究者や技術者を育成することを目的としている。



日本語版HP



英語版HP



腕の運動から発電するエレクトレット・デバイス

精密工学専攻

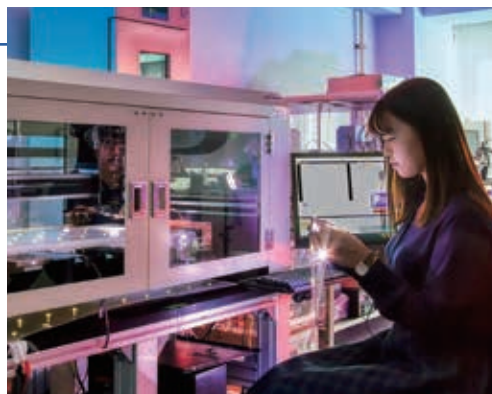
未来を変える原動力たる「ロボテック (RT: Robot Technology)」と「プロテック (PT: Production Technology)」は、いずれも精密工学が先頭に立って切り拓き、互いに深く結びつきながら発展してきた関連の深い技術領域である。精密工学専攻では、その基礎から応用までをしっかりと身につける専門教育を行う。また、社会の変化とニーズに機敏に対応して、先端デバイスを利用した生産技術や次世代バイオ・メディカル機器の開発、人工知能 (AI)・機械学習を利用したシステム設計やロボット開発、さらにはそれらの社会への実装まで、幅広く教育・研究を行っている。



日本語版HP



英語版HP



電子テキスタイルへのデバイス実装技術

システム創成学専攻

私達は、地球規模の重要課題の解決に向けた新たな手段を提案している。第一に、気候変動問題の克服に資するエネルギー・資源フロンティアの開拓や、その貯蔵・輸送に関する新たな知見を創出する。第二に、未来社会における人間と社会のあり方を探究するため、社会経済システムや人工知能の研究を進めるとともに、社会変化に対応する情報通信システム・ビジネスシステム・基盤インフラシステムの先端研究と最適化を推進する。システム創成学専攻では、これらの研究要素を分野融合的につなぎ合わせることを重視し、俯瞰的な視点から新しい価値を有するシステムを創出できる人材の輩出をめざしている。



日本語版HP



英語版HP



領域融合が複雑先進社会に新たな価値を創成する

航空宇宙工学専攻

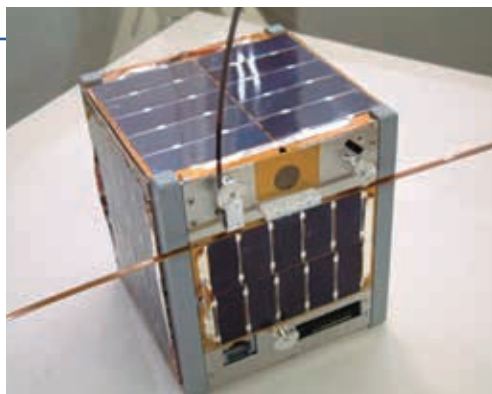
航空宇宙工学専攻は、航空宇宙という世界のもつ顕在的・潜在的意義、可能性を追求し、人類の幸福のためにそれらを積極的に活用していくための研究／教育を行うとともに、他の多分野にも応用できる先端的技術と知識および新しい工学の創成を目指し、航空宇宙のミッションを題材にシステムインテグレーション及びその実践的研究／教育を行う。これらの研究／教育により航空宇宙工学を担う人材を育成し、人類社会の発展に貢献することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



世界初の打ち上げに成功した1kg衛星

電気系工学専攻

電気系工学専攻は、電磁気学・量子物理学を中心とした物理学的側面と情報学的側面を融合した領域を創成し展開するために、エネルギー・環境・宇宙、ナノ物理・デバイス、情報・通信に関する研究教育を推進しています。研究分野は宇宙開発、電気自動車開発、電気エネルギー輸送の大容量化、人工知能やIoT、自動運転の中核をなす脳型LSIや最先端センシングデバイスなど多岐にわたります。いずれも目に見えない電子や情報の世界をデザインし制御する研究です。これらの研究を通じて、深い専門性、幅広い視野、オリジナリティと国際性をもつ次世代リーダーを育成することを目指しています。



日本語版HP



英語版HP



路面に埋められたコイルからインホイールモータへ走行中にワイヤレス給電できる電気自動車

物理学専攻

学術の体系を基礎から理解し、新しい問題に挑戦する意欲のある人は、あらゆる分野で求められている。物理学専攻は、物理学を基礎に、自ら考え、未踏の領域に挑戦し、世界をリードする人材を育成する。また、物理学の最先端を研究し、その成果を社会と産業に生かすことを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



世界を変えるアイデアはあるか？

マテリアル工学専攻

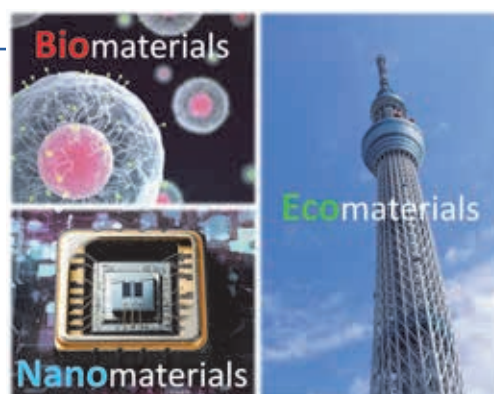
マテリアル工学専攻は、全ての人間活動の根底を支えるマテリアル工学の未踏領域を先導し、環境、エネルギー、情報・通信、医療などの現代社会が抱える課題・難問にマテリアル分野から突破口を切り拓き、人類社会の持続的発展と幸福に貢献することを究極的な目的とする。本専攻では、広範なマテリアルの基礎知識と高度な専門知識を習得し、かつ世界トップレベルの研究・開発を推進することによって、独創的かつ国際性豊かな次世代リーダーの育成を目指している。



日本語版HP



英語版HP



様々な創製されたマテリアルによって人類は支えられている

応用化学専攻

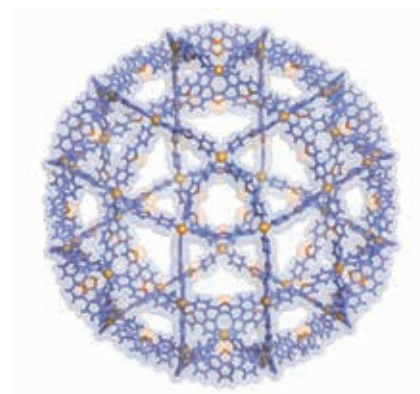
応用化学専攻は、化学に基づく新分野／新技術の創造を通じて持続可能な人類の発展や地球環境に貢献することを究極の目的とする。本専攻では、応用化学に関する幅広い基礎知識と高度な専門知識を身に付け、それを基盤として多岐の分野にわたる研究・開発を率先して展開する自立した人材を育成する。また、世界をリードする最先端の研究を推進することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



自己集合の原理で合成したナノスケールの巨大中空分子

化学システム工学専攻

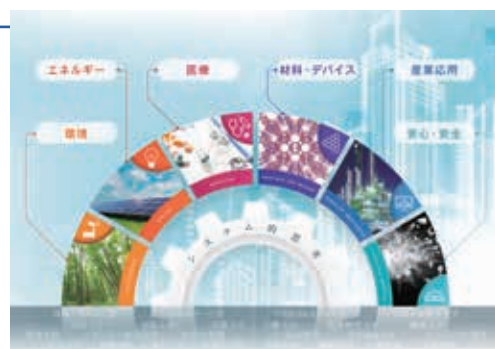
化学システム工学専攻は、分子から地球に至る各スケールでの化学現象の解析・制御と、それら構成要素のシステム化・設計に重点を置き、化学システム工学の方法論を身に付けた化学技術者・研究者を育成する。また、この方法論を用いて、環境、エネルギー、医療、材料・デバイス、産業応用、安全・安心などの分野で、人類の抱える社会課題の解決に向けた研究を先導し、持続可能社会の構築に貢献する。以上を本専攻の教育研究上の目的とする。



日本語版HP



英語版HP



化学知を社会に

化学生命工学専攻

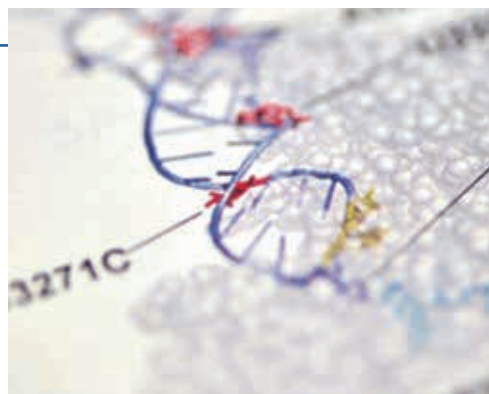
化学生命工学専攻は、有機化学、高分子化学、生命科学、分子生物学など化学から生命にわたる広い学問領域を専門とすることで、化学および生命の融合領域において新しい化学・生命科学を創造できる人材を育成する。また、生物に習いながら優れた化学反応を創成する一方、化学を用いて生命現象の解明および生命系の改変に取組み、これらを社会に大きく貢献できるテクノロジーへと発展させることを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



分子で語る化学と生命

先端学際工学専攻

先端学際工学専攻は、先端的科学技術に関する萌芽的・先導的な基礎／応用研究から、社会科学やバリアフリーという社会システムに関わる研究までを対象として、教育・研究指導を行う。また、社会人に対する再教育としての大学院教育も実施している。このような大学院教育／研究を通して、先端科学技術分野に関する独創的・創造的な研究者のみならず、広い視野に立つ先進的・国際的な研究者、経営管理者、さらには先端的・学際的な政策立案者の育成を図ることを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



多様な研究者が在籍する学際的研究環境を提供

原子力国際専攻

原子力国際専攻は、理工学の多様な分野に通じ、人や社会に関する高度な教養を体得しながら、原子力安全・エネルギーと放射線科学・応用に関する体系的な知識と思考方法を身に付け、学術とその活用に係わる研究・開発・計画・設計・生産・経営・政策提案などを国際的な視点から責任を持って担うことのできる人材を育成する。さらに、未踏分野の開拓や新たな技術革新に繋がる最先端研究へと果敢に挑戦し、人類社会の持続と発展に貢献できる人材を輩出する。以上を本専攻の教育・研究における人材育成の目的とする。



日本語版HP



英語版HP



豊富な国際交流のチャンス

バイオエンジニアリング専攻

バイオエンジニアリング専攻は、持続的発展を希求し、少子高齢化が進む社会における人類の健康と福祉に資するために、既存のディシプリンである機械・電気・物理・化学・マテリアルなどの工学分野に立脚し、物質・システムと生体との相互作用を理解・解明して学理を打ち立てるとともに、その理論に基づいて相互作用を制御する基盤技術を構築する。それらの教育・研究を通じてバイオメディカル産業を先導し支える人材を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



融合から創造へ

技術経営戦略学専攻

技術経営戦略学専攻では、複数の専門性が組み合わさることで社会課題の解決に資することが増えている近年において、国際的な社会課題に精通し、科学技術および経営・経済の専門的な素養を身に付け、実際に課題を解決する実行力をもつリーダーとなる人材の育成を目指す。そのために海外研修やさまざまなプロジェクト型の教育を提供する。特に、人工知能、サーキュラーエコノミー、スタートアップなどの工学の各分野をまたがるテーマについて、重点的に研究や教育を行っている。



日本語版HP



英語版HP



グローバルなスタートアップについての講義

原子力専攻

原子力専攻では、先進原子炉工学、廃炉工学、先進レーザー・ビーム科学、医学物理、原子力燃料材料および核融合炉材料開発等の研究を行っており、専攻で保有する大型装置等は国内外に広く共同利用されている。

また、国内唯一の原子力専門職大学院として、原子力に関する産業界、行政機関、研究開発機関等で指導的役割を果たす高度技術者を育成しており、安全運転、維持管理、監督指導のための深い学識を教授している。



日本語版HP



極短パルスの電子線を発生するLINAC施設

(4) 学科

社会基盤学科

社会基盤学科は、国や地域における自然や歴史、文化、さらに国際的な視野に立ち、社会基盤の整備や運営を先導できる人材の育成を目的とする。社会基盤学の領域は地盤、構造物、材料、水文、河川、海岸、環境、エネルギー、防災（地震・豪雨・台風など）、国土計画、景観、都市、交通、マネジメント、国際など多岐にわたり、私たちの安全・安心で豊かな社会・生活を支える。社会基盤学科では、これらの社会基盤学の体系的な知識や技術を習得し、変化する社会や生活に対応することのできる応用力を養うための教育・研究を推進する。



日本語版HP



英語版HP



東大演習林におけるフィールド演習の様子

建築学科

建築学科は、建築の計画・設計・生産・保全のための学術・技術・芸術における計画・構造・環境の各分野の知識を習得するとともに、これらの知識を総合して設計・提案する能力を身に付け、人類社会の持続と発展に貢献できる幅広い視野と創造力を持った人材を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



建築模型を開いてのエスキース・クリティーク

都市工学科

都市工学科は、都市工学に関する体系的な知識を身に付け、都市計画、都市デザイン、都市解析、都市防災、国際都市・地域計画、都市交通、まちづくり、空間・環境デザイン、都市水・地域循環共生システム、都市衛生工学、水環境制御、環境質リスク、都市サステナビリティ、社会生態システム、下水道システム、国際下水疫学などにおいて、国土及び地域社会の健全で持続可能な発展に貢献できる指導的人材を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



多様なアプローチをつうじて持続可能な都市を創る

機械工学科

機械工学科は、基盤となる機械力学、材料力学、流体力学、熱力学の4力学に、優れた人工物を実現する設計工学、生産工学、人間の知と連携し現象やシステムの分析、制御を高度化する情報・ソフトウェア技術を加えた、総合的な学問体系としての機械工学の教育と研究を担っている。そして、それらの応用先である環境・エネルギー、バイオ・医療など、先端科学技術を開拓しうる指導的な研究者や技術者を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



空中で自由に変形できる多リンク型飛行ロボット

機械情報工学科

機械情報工学科では、情報に形を与え、機械を知的に動かし、人間・機械・情報の新しい結びつきを創る理論とシステムを学ぶ。人工知能、ロボット工学、生体機械工学、バイオ・ニューロテクノロジー、ヒューマンインタフェース、VR、生活工学などを通じて、情報学と機械工学を統合し、人と実世界の交わりをなす知能機械システムを創造する力を養う。これにより、グローバルな視点と緻密な思考を備えた次世代のリーダー・研究者を育成する。



日本語版HP



実世界に立脚した知能ロボット研究

航空宇宙工学科

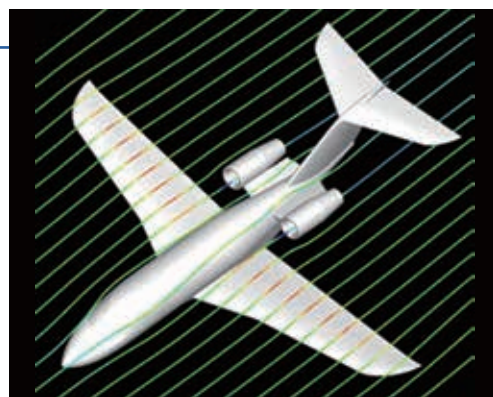
航空宇宙工学科は、航空機やそのエンジン、ロケット、人工衛星等の要素技術となる4つの力学（流体力学、材料・構造力学、制御工学、熱力学）を中心に学ぶとともに、それらの要素技術を組み合わせて、信頼性のある「システム」をいかに構築・運用するかというシステムインテグレーションやシステム工学を教育・研究する学科である。極限環境で動作するこれらのシステムの技術は他の多分野にも応用できる先進性を有している。



日本語版HP



英語版HP



コンピューターによる流れのシミュレーション

精密工学科

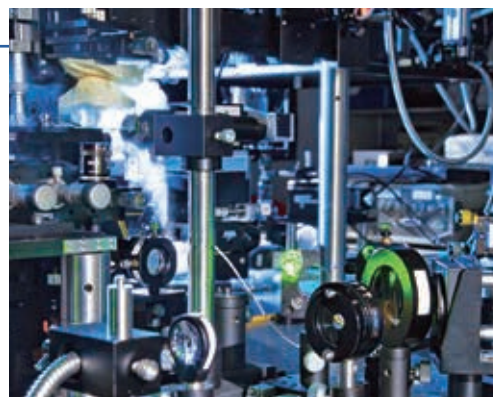
精密工学科では、「ロボテック（RT: Robot Technology）」と「プロテック（PT: Production Technology）」を対象として、その基礎から応用にわたる幅広い知識を持つ人材を育成する。これら2つの技術に根ざした、精密加工、精密計測、人工知能（AI）を用いたシステム設計、ものづくりの情報化・知能化、バイオ・メディカル機器やサービスロボットなどに関する教育・研究を推進している。



日本語版HP



英語版HP



光応用ナノ加工、計測装置

電子情報工学科

電子情報工学科は、電子技術に立脚したコンピュータ・情報処理技術（ハードウェアとソフトウェア）、情報ネットワーク技術、通信システム技術、メディア・信号処理技術、知能情報処理技術などを対象として、その高度化と新技術の創出を担う人材を育成しています。学部生を対象として、海外で成果発表するプログラムもあります。



日本語版HP



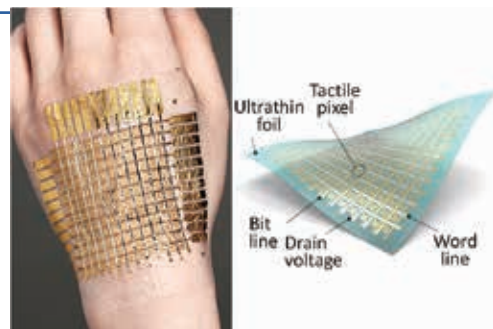
画素単位での可視光通信を実現する
テーブル型ディスプレイ「EmiTable」

電気電子工学科

電気電子工学科は、電磁気学・量子物理学を中心とした物理学を基礎としながら、ナノ物理・光量子・バイオ、エネルギー・環境・宇宙、システム・エレクトロニクスといった情報学的側面を融合した広範囲な領域を高度化するとともに、新たな技術を創出し、国際的に活躍できる次世代のリーダーを育成しています。



日本語版HP



世界でもっとも軽く薄く柔らかい電子回路でできたタッチセンサ

物理工学科

物理工学科は、未知の対象にアプローチする方法論の体系である物理学の基礎から最先端までを学び、それを基に新しい学問や産業分野を創生できる人材を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



世界を変えるアイデアはあるか？

計数工学科

計数工学科は、数学と物理学と情報の基礎の上に立って、人類の幸福に役立つ工学の姿を追求する。特に、特定の産業分野に偏らず、工学のさまざまな分野の諸課題を解決するための基本的な考え方、普遍的な原理、系統的な方法論の構築を目指すとともに、新しい工学の可能性を広く探求することのできる人材の育成を目的とする。



日本語版HP



英語版HP



計数工学科で学ぶシステムと数理

マテリアル工学科

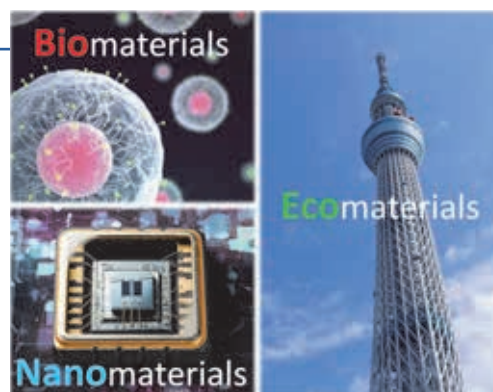
マテリアル工学科は、環境、エネルギー、情報・通信、医療などの人間活動を根底から支えるマテリアル工学に関する基礎から応用までの体系的な知識習得と、新たなマテリアルを研究・開発する創造的能力を涵養し、人類社会の持続的発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。そのため、バイオマテリアル、環境・基盤マテリアル、ナノ・機能マテリアルの3コースを設置し、あらゆるマテリアル領域の総合的かつ国際性豊かな教育・実習を通じて、視野広く有為な次世代リーダーの育成を目指している。



日本語版HP



英語版HP



様々な創製されたマテリアルによって人類は支えられている

応用化学科

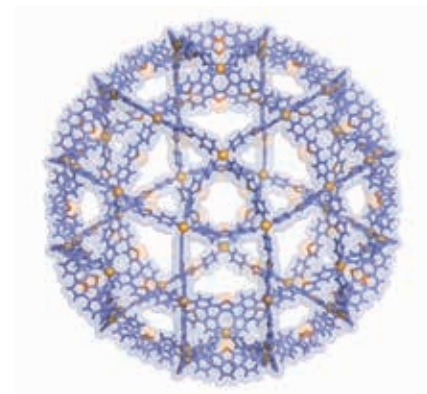
応用化学科は、化学に基づく新分野／新技術の創造を通じてサステイナブルな人類の発展や地球環境に貢献することを究極の目的とする。そのため、物理化学、量子化学、無機化学、有機化学、分析化学などの基礎化学を体系的に学ぶ。さらにこれらを包括融合する大学院における先端研究を通じて、高度で有用な知識や技術を創成するための人材育成を目的とする。



日本語版HP



英語版HP



自己集合の原理で合成したナノスケールの巨大中空分子

化学システム工学科

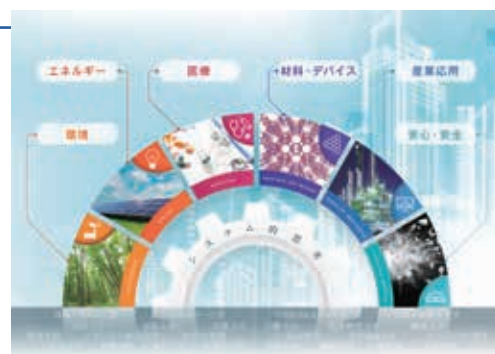
化学システム工学科は、化学をベースとした原子・分子レベルでの材料の開発や化学反応の制御に基づいて、マクロなスケールでのシステムの構築・解析を行える化学システム工学の方法論を身に付けた化学技術者、研究者を育成する。同時に、この方法論を用いて、環境、エネルギー、医療、材料・デバイス、産業応用、安全・安心などの分野で、人類の抱える社会的課題に取り組み、持続可能社会の構築に貢献できる人材を育成することを目的とする。



日本語版HP



英語版HP



化学知を社会に

化学生命工学科

化学生命工学科は、化学と生命を両輪に、これらの英知を社会に大きく貢献できる科学技術へと発展させることを目的とする。このため、有機化学、高分子化学、生命科学、分子生物学など化学から生命にわたる広い学問領域を体系的に学び、これらを包括融合する大学院における先端研究を通じて、次世代の科学技術の発展に貢献する魅力あふれる人材を育成する。



日本語版HP



英語版HP



分子で語る化学と生命

システム創成学科

システム創成学科は、経済発展と社会課題の解決を両立させ、人類の更なる発展と幸福を追求する「未来社会システムを創成」するための総合的な学理を探究します。AI・量子・デジタル（半導体や情報通信を含みます）、ライフサイエンス・バイオ、環境・エネルギー、宇宙・海洋、材料・製造技術、そして人文・社会科学との融合といった、文理にまたがる広範な領域を統合的に学び、それらをつなぐことで未来社会システムを創成する、国際的に活躍する人材を育成します。



日本語版HP



Contents of Global Systems Innovation

(5) 附属施設

総合研究機構

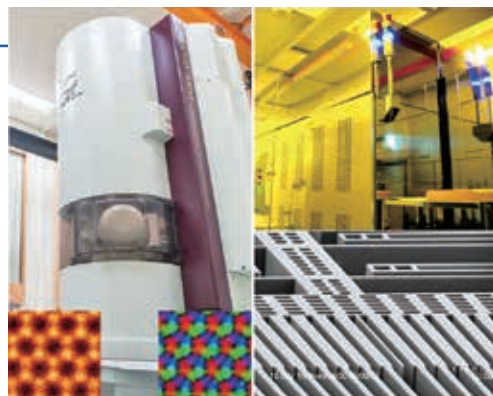
工学系研究科長のリーダーシップのもと、新たな学術領域の創出に挑戦する戦略研究、工学系研究科に資する大型プロジェクトや社会連携・産学協創プログラムの活性化、優れた若手教員を育成する新分野開拓准教授プログラムなどを推進している。また、工学系研究科全体を支える研究基盤技術の管理運営を担っており、最先端分析機器及び加工装置群を学内外ユーザーに広く共用し、多岐にわたる研究支援を行っている。



日本語版HP



英語版HP



世界最高性能電子顕微鏡とスーパークリーンルーム

国際工学教育推進機構

国際的な工学教育研究基盤の構築、国内外の優秀な学生や教員の結集、世界との国際教育連携推進を目的として、平成23年4月に工学系研究科附属教育施設として設立された。科学技術立国の将来を見据え、世界リーディング大学に見合う国際求心力強化を目指しており、工学教育部門、国際教育部門、国際事業部門、学際研究部門、ものづくり部門を設置している。



日本語版HP



英語版HP



留学生によるお茶会

水環境工学研究センター

環境本位型社会における多様な社会的要望に応えられるように、基礎科学と実学の融合・連携から先端的水環境工学技術の開発研究を進める研究センターである。水質制御技術や新素材の開発、流域水環境における汚染物質管理などの水システム管理、水と衛生に関わる国際水環境問題を主たる柱として、水分野において分野横断的且つ機動的な中核拠点となるべく、最先端の研究を推進している。



日本語版HP



英語版HP



河川流域における未規制汚染物質の調査

量子相エレクトロニクス研究センター

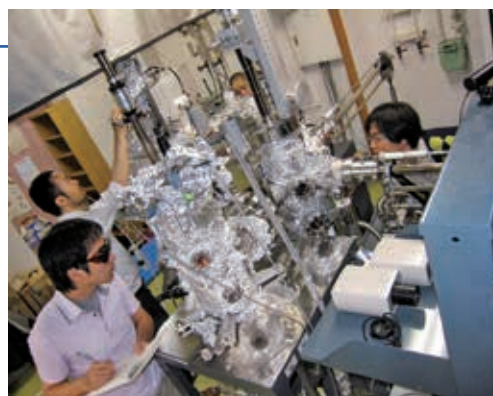
量子相エレクトロニクス研究センターでは、持続可能社会の形成に不可欠な、超高効率エネルギー変換・超低消費電力エレクトロニクスへ向けた革新的な物性科学原理を開拓している。強相関量子物質に関する実験・理論の融合研究により、モットロニクス、トポロジカルエレクトロニクス、スキルミオニクスなど、量子物質の創発性に基づく新しい電子技術原理を提案するとともに、その実証を行う。



日本語版HP



英語版HP



次の技術革命を起こすのはだれだ？

エネルギー・資源フロンティアセンター

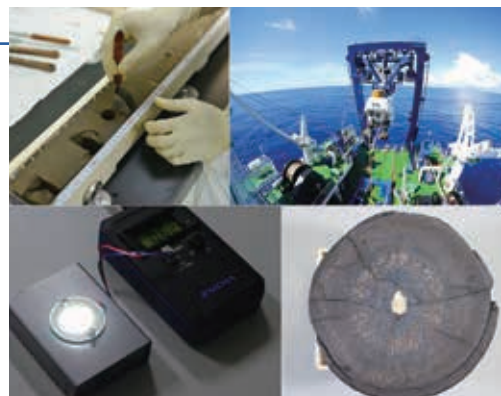
エネルギー・資源フロンティアセンターは、深海や宇宙のフロンティア資源の発見・探査、新規性の高いフロンティア技術の開発を進展させ、環境に配慮した革新的な資源開発システムと最先端技術を創成することを目的とする。特に石油天然ガス開発とその環境共生を図るCCS、日本近海のメタンハイドレート開発、排他的経済水域の海底鉱物資源の探査と開発、人工的なプロセスによる資源の創成などの最先端の研究を重点的に推進する。



日本語版HP



英語版HP



日本の海に眠るフロンティア資源の開発と活用に向けて

光量子科学研究センター

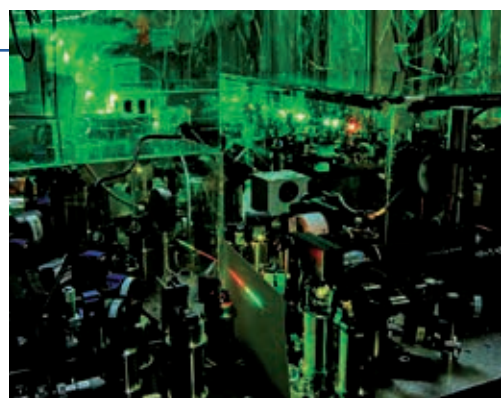
光量子科学研究センターは、光科学研究教育の中核を担う国際拠点形成を目指して設立された。科学および技術の基盤としての現代光科学の学理の構築と先端技術の開拓を進め、博士人材・若手研究者の育成を推進している。特に、光波および光量子を発生・操作・活用する革新的な科学技術の創出を目指している。



日本語版HP



英語版HP



量子の世界を究極的に計測・制御するレーザー光源

医療福祉工学開発評価研究センター

医療福祉機器技術は人体に介入を行うため、そのリスクと医療福祉上の効果（ベネフィット）を科学的に分析し、機器のリスクを低減しつつ効果の最大化を図る検討が研究開発段階で必須である。本センターでは、新規医療福祉機器技術の研究と共に、その性能・安全性の科学的評価方法の研究（レギュラトリーサイエンス研究）を行い、工学系研究科の様々な先端的な医療福祉に関する研究成果の早期臨床展開を目指している。



日本語版HP



医療技術評価実験室における低侵襲手術支援システムの研究

レジリエンス工学研究センター

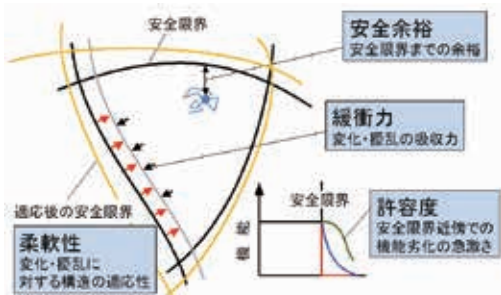
さまざまな分野でリスクマネジメントに関する新しい考え方が求められており、外乱やシステム内部の変動がシステムの全体機能に与える影響を吸収し、状態を平常に保つシステムの能力であるレジリエンスの概念が注目を集めるようになった。本センターは、レジリエンスを有するシステム実現のための学理と方法論に関する教育研究活動を進めている。



日本語版HP



英語版HP



レジリエンスに関連するシステムの特性

スピントロニクス学術連携研究教育センター

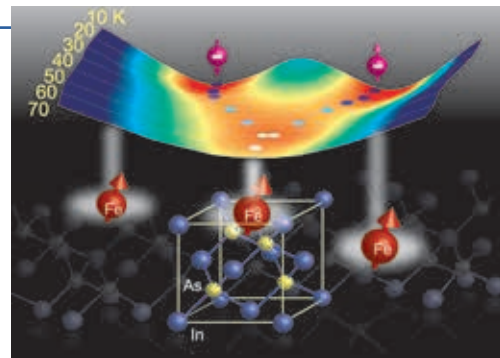
「スピントロニクス」は、エレクトロニクスや情報処理に「スピン」自由度を積極的に取り入れた材料/デバイス/システムの研究開発を行う学際的分野である。学術と応用技術の両面で急速に発展しており、エネルギー消費を抑えた新しいICT技術の飛躍的進歩が期待されている。この分野の拠点として本センターを設置し、全国の研究者の力を結集してネットワークを構築し、イノベーションを通じて社会に貢献する。



日本語版HP



英語版HP



スピンの性質と機能をもつ新しい物質、ナノ構造、デバイスをつくり、科学技術の革新を目指す

人工物工学研究センター

人が生み出す技術は、時に社会的問題の要因にもなり得る。技術が社会により良い形で貢献できるように、我々は、技術が引き起こし得る課題を見出し、解決することで、社会に変革をもたらし得る研究に挑戦している。そのためには、既成の枠組みにとらわれない視点を持ち、新しい概念を創出し、体系化することが必要である。本センターは、価値創成部門、認知機構部門、実践知能部門、エンタウド部門の4部門から構成されており、モノやサービス、さらにそれらと人を包含する環境などを幅広く対象として、上記目的のための基盤研究および人材育成を行っている。また、分野や組織の枠を超えて産学官と連携し、社会的要請に応える研究にも数多く取り組んでいる。研究成果の社会実装によって生じ得る課題の発掘と解決を繰り返すことで、社会の持続性向上に貢献する研究を推進している。



日本語版HP



英語版HP



モノづくりにおける課題解決を目指した取り組みの一つである、ロボットによる部品組付けのシミュレーション

システムデザイン研究センター

知識集約型社会が到来する。価値の中心が製品からサービスに移ったとき、製造業はどうなっているのだろうか？その答えを探すのが本センター（d.lab）の使命である。d.labはソリューションを創り出す側の視点に立って、システムのアイデアを持つ人なら誰でも専用チップを即座に手にすることができるように、デザインの手法と製造のエコシステムを再構築することを目指す。データ駆動型システムのデザインプラットフォームを作り、データ駆動型社会で活躍する人材を育成する。



日本語版HP



英語版HP



シリコンコンパイラでソフトウェアを書くようにチップを作る

キャンパス・マネジメント研究センター

21世紀の未来社会では、従来の建築学とは異なるマネジメント学が求められている。本センターは、東京大学のキャンパスの建物群を対象として、施設の保全と更新、歴史的空間資源の活用、情報通信技術の活用を推進する。ファシリティ・マネジメント（FM）、プロパティ・マネジメント（PM）、情報マネジメント（IM）の3つの観点を相互に発展させながら、未来社会に相応しい理想の大学空間の創造を目標として、研究・教育・実践を推進する。



日本語版HP



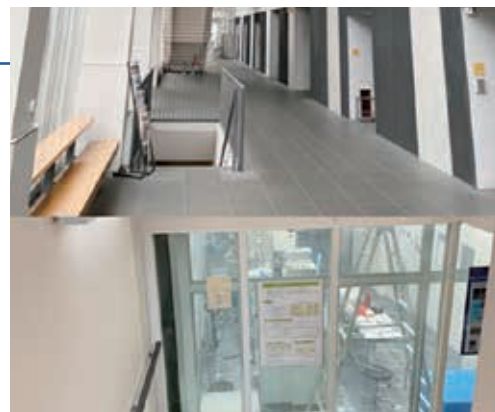
竣工したドリーム講義室「KAJIMA HALL：15号講義室」

ナノシステム集積センター

最先端のナノデバイス製造共用設備を一元管理する拠点として、ラピッドプロトタイピングを支援し、オープンイノベーションを推進するとともに、ベンチャー育成と産学連携等によりデジタル変革を加速する。また、電子デバイス、光デバイス、MEMS、微小流体デバイスなどの試作開発環境を整え、これらのデバイスの設計、製作、評価、および関連する材料・プロセス開発に関する研究と教育を展開する。



日本語版HP



武田先端知ビルと地下のクリーンルーム

トランスポートイノベーション研究センター

物流・交通等の分野は、社会基盤学・都市工学・機械工学・システム創成学などの学問領域にその基盤をおくが、近年発展しつつある人工知能・自動化技術・センシング技術など、工学の広い範囲と関連するとともに、個別の技術を超えて、社会制度設計や政策課題などの公民学の領域にもわたる。

本センターは、これらの広い領域にまたがる物流・交通等に関連する各研究分野の境界領域の開拓及び融合を図り、産業界と連携して物流・交通が抱える諸課題の解決に向けた研究に取り組むことで、物流・交通における技術革新を先導し、社会制度や政策課題などの解決に資する研究成果を導き出すことを目指す。



日本語版HP



英語版HP



トランスポートイノベーション研究センターのカバーする領域

マシニング・トランスフォーメーション研究センター

MXセンターは、製造業の持続的発展と社会課題の解決を目指す研究拠点である。工程集約、自動化、DXを通してGXを実現し、省人化、省エネルギー化、リードタイム短縮、高精度化を推進する。機械工学、材料工学、制御工学、数理科学、データサイエンスなどを横断する研究体制により、切削・研削・超音波加工・レーザ加工・AMなどの加工プロセスを可視化・モデル化し、工作機械システム全体の高度化を図る。また、産学連携を通じて研究成果の社会実装を加速し、航空・宇宙、エネルギー、半導体、モビリティ、医療、ロボットなどの成長分野に高付加価値な製造技術を提供する。



日本語版HP



マシニング・トランスフォーメーションのイメージ

4. 教職員数

(2026.5.1現在) (単位：人)

教 員 数																		計
教授		准教授		講師		助教		助手		特任教授		特任准教授		特任講師		特任助教		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
157	10	106	9	40	4	101	25	1	2	12		20	2	22	4	40	17	572

職員数				計
事務部		技術部		
男	女	男	女	
51	82	71	19	
				223

専攻等	教員数									計
	教授	准教授	講師	助教	助手	特任教授	特任准教授	特任講師	特任助教	
社会基盤学	14	4	2	8			2	1	5	36
建築学	11	8	1	7		1	2	1	2	33
都市工学	7	8	4	4				2	5	30
機械工学	10	7	8	10		1			1	39
精密工学	6	5	1	3				1	3	19
システム創成学	13	13	2	4			1		2	35
航空宇宙工学	11	7	1	8			1		5	33
電気系工学	16	8	2	6		2	3	1	6	44
物理工学	11	6	5	15						37
マテリアル工学	11	4	3	7		1			3	29
応用化学	5	7	3	12				2	2	31
化学システム工学	7	4	3	7		1	1	1	1	25
化学生命工学	5	7	1	10		1		2	2	28
先端学際工学	2		1	1						4
原子力国際	3	2		2					2	9
バイオエンジニアリング	6	2	2	2			2	1	2	17
技術経営戦略学	4	3		1			3	4	2	17
原子力	4	2		5	1	1				13
水環境工学研究センター	1	1				1	1		1	5
量子相エレクトロニクス研究センター	3	2	1	3			1		2	12
総合研究機構	3	5	1	7		1	3	3	5	28
エネルギー・資源フロンティアセンター	2	1								3
光量子科学研究センター	1									1
国際工学教育推進機構	1	3	1		2		1		3	11
医療福祉工学開発評価研究センター		2						1		3
レジリエンス工学研究センター	2	1							1	4
スピントロニクス学術連携研究教育センター								1		1
人工物工学研究センター	4	2	1	2		1		3	2	15
システムデザイン研究センター	2		1	2		1	1	1		8
キャンパス・マネジメント研究センター										0
ナノシステム集積センター								1		1
トランスポートイノベーション研究センター	1	1								2
マシニング・トランスフォーメーション研究センター										0
環境安全管理室	1									1
計	167	115	44	126	3	12	22	26	57	572

事 務 部 等	計
事務部長	1
学務課	46
研究推進課	19
国際推進課	7
情報図書課	11
総務課	26
財務課（技職4含む）	22
企画調整担当課	1
小 計	133
技術部	90
計	223

5. 学生数等

(1) 学部学生数 (2026.5.1現在) (単位：人)

学科等	定員	学生数	研究生	進入学者数		
社会基盤学科	80	108				51
建築学科	120	129	1	(1)		59
都市工学科	100	118	2	(1)		52
機械系		296		(2)		137
機械工学科	170		2			
機械情報工学科	80		1			
航空宇宙工学科	104	127		(2)	[1]	58
精密工学科	90	105		(1)		47
電子・情報系		287		(5)		134
電子情報工学科	80					
電気電子工学科	150					
物理工学科	100	118		(2)		55
計数工学科	110	138		(2)		63
マテリアル工学科	150	162				77
応用化学科	110	113		<1>		52
化学システム工学科	100	93		<1>		45
化学生命工学科	100	98				41
システム創成学科	232	292	2	(2)	<1> [1]	132
計	1,876	【260】 2,184	【2】 8	(18)	<3> [2]	1,003

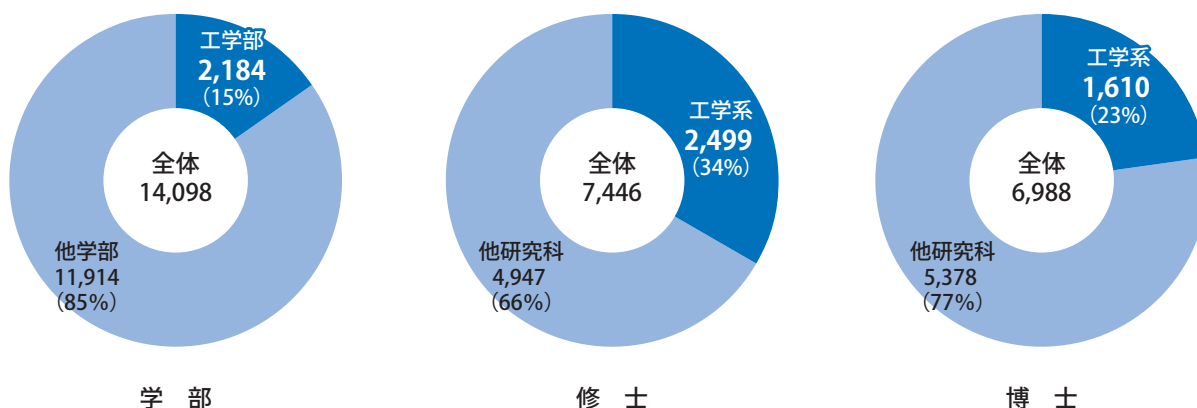
- ※ 収容定員欄は、学部通則第1条第2項別表の数値のうち、学部後期課程分を示してある（年次進行）
 ※ 女性数について、【 】で内数
 ※ 進入学者数について、（ ）は編入学、< >は学士入学及び再入学、[]は転学部及び転学科で内数

(2) 大学院学生数 (2026.5.1現在) (単位：人)

専攻名	修士課程		博士課程		専門職学位課程		大学院 外国人研究生	大学院研究生	入学者数		
	収容定員		収容定員		収容定員				修士	博士	専門職
社会基盤学専攻	104	202	72	103				3	77	10	
建築学専攻	74	206	48	111			10		76	11	
都市工学専攻	74	171	33	68			3		41	6	
機械工学専攻	104	237	75	154			1	2	86	18	
精密工学専攻	54	117	36	63			1		47	9	
システム創成学専攻	90	234	57	111			5		107	21	
航空宇宙工学専攻	74	134	54	87			1	1	59	23	
電気系工学専攻	140	353	96	172			8		145	43	
物理工学専攻	84	124	57	91					57	27	
マテリアル工学専攻	90	137	60	59			2	2	55	10	
応用化学専攻	66	130	39	54					54	15	
化学システム工学専攻	56	108	39	88			2		47	27	
化学生命工学専攻	64	104	39	79			3		40	25	
先端学際工学専攻			138	189				1		37	
原子力国際専攻	44	62	33	47			1	2	27	10	
バイオエンジニアリング専攻	58	77	36	68			1		32	11	
技術経営戦略学専攻	35	103	24	66			3		35	8	
原子力専攻					15	15					15
計	1,211	【440】 2,499	936	【309】 1,610	15	【1】 15	【17】 41	【5】 11	985	311	15

- ※ 女性数について、【 】で内数

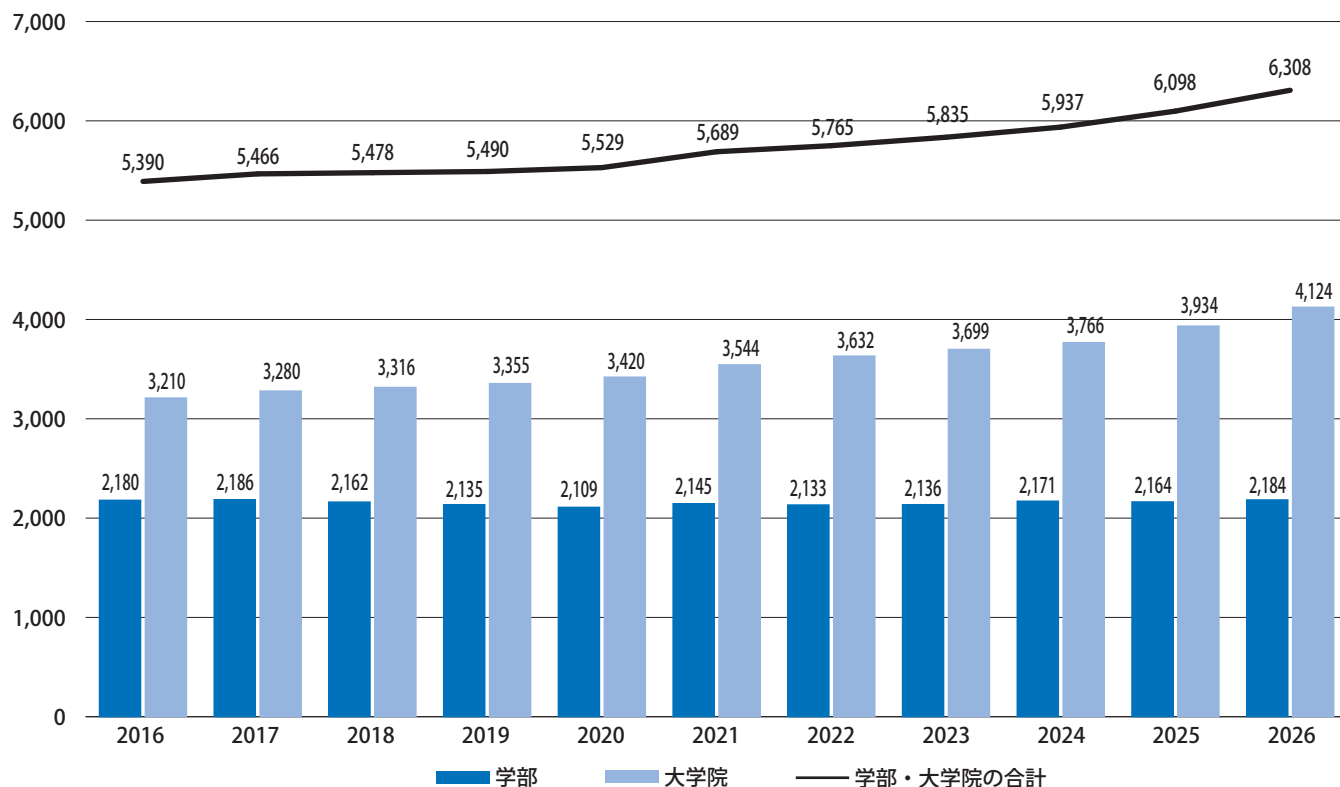
(3) 本学における工学部・工学系研究科の学生数の割合（2026.5.1現在）（単位：人）



(4) 学生数の推移（各年度5.1現在）（単位：人）※専門職学位課程を含む

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
学 部	2,180	2,186	2,162	2,135	2,109	2,145	2,133	2,136	2,171	2,164	2,184
大 学 院	3,210	3,280	3,316	3,355	3,420	3,544	3,632	3,699	3,766	3,934	4,124
学部・大学院の合計	5,390	5,466	5,478	5,490	5,529	5,689	5,765	5,835	5,937	6,098	6,308

学生数
(単位：人)



(5) 博士学位授与数（2026.5.1現在）（単位：人）

区分	旧制	新制（課程博士）		新制（論文博士）		計	
	累積	2025年度	累積	2025年度	累積	2025年度	累積
工 学 博 士	1,916		2,940		3,202		8,058
博 士（工 学）		337	8,809	29	2,991	366	11,800
博 士（学 術）		8	151	1	18	9	169

(6) 博士学位授与数の推移（単位：人）

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
課程博士（工学）	265	269	266	232	241	261	273	252	251	266	254	312	337	337
課程博士（学術）	5	7	3	7	4	8	2	6	3	3	3	3	2	8
論文博士（工学）	49	37	35	24	35	35	34	30	21	24	26	17	14	29
論文博士（学術）	0	0	1	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	1
合計	319	313	305	263	280	307	310	289	275	293	283	332	353	375

(7) 卒業後の進路（2025.3.31現在）（単位：人）

進路状況		学部	修士	博士	専門職
卒業・修了者		994	1013	385 * 46	13
進学	大学院研究科	776	221	27	
	他学部等への進学	3	1		
	専修学校・外国の学校等入学者	2	13	4	
	小計	781	235	31	
就職	農業、林業			1	
	漁業				
	鉱業、採石業、砂利採取業		3	1	
	建設業	1	59	8	
	製造業	11	209	86	1
	電気・ガス・熱供給・水道業		17	4	9
	情報通信業	17	105	21	
	運輸業、郵便業	5	24		
	卸売業、小売業	2	9	2	
	金融業、保険業	11	39	7	
	不動産業、物品賃貸業	4	22		
	学術研究、専門・技術サービス業	7	51	105	
	宿泊業、飲食サービス業				
	生活関連サービス業、娯楽業	2	8		
	教育・学習支援業	1	3	13	
	医療、福祉		4	6	
	複合サービス事業	2	14	2	
	サービス業	8	24	1	
	公務	4	28	3	
	その他の企業等	50	69	10	1
	小計	125	688	270	11
その他		88	90	84	2

* 満期退学者で内数

6. 国際交流

(1) 国際交流協定校（2026.5.1現在）

地域	国名／地域名	大学（機関）名
アジア	インド	* インド工科大学カラグプール（覚書のみ）
		* インド工科大学カンプール校（覚書のみ）
		* インド工科大学デリー校（覚書のみ）
		* インド工科大学マドラス校（覚書のみ）
		◆* インド工科大学ボンベイ校
		* インド工科大学ルールキー校
		* インド経営大学院バンガロール校
	カザフスタン	アルファラビ国立大学機械・数理学部、生物学部、化学部、物理学部
	シンガポール	ナンヤン工科大学工学部
	シンガポール・中国	* シンガポール国立大学設計・環境学部／同済大学建築・都市計画学院／清華大学建築学院
	スリランカ	モラツワ大学工学部
	タイ	◆* アジア工科大学院
		東・東南アジア地球科学計画調整委員会
	ベトナム	* ベトナム国家大学ハノイ校理科大学（覚書のみ）
		フエ大学自然科学部
		ベトナム科学技術院ベトナム国家衛生センター
		ハノイ工科大学
	韓国	韓国科学技術院（KAIST）工科大学・生命科学技術大学
	韓国・中国	* ソウル国立大学校工科大学・清華大学
		◆ 清華大学
	中国	◆ 浙江大學
		中南大学
		重慶大学
		* 西安交通大学
		* 大連理工大学
		天津大学
		* 同済大学大学院
		北京化工大学
		* 北京交通大学
		華北電力大学
		深圳大学
		華南理工大学機械・汽車工程学院
		台北科学技術大学設計大学・工学部
	台湾	国立成功大学電気情報工学部
		工業技術研究院
		国立清華大学科技管理学院
		* 国立台湾大学工学院（覚書のみ）
		台湾亜州大学
		* 国立清華大学工学院
		中原大学工学部
		国家実験研究院
		* 国立中山大学理学院・工学院
		ミャンマー
		ヤンゴン工科大学
オセア	オーストラリア	* ロイヤルメルボルン工科大学
		◆ 南オーストラリア大学
		* クィーンズランド工科大学理工学部
中近東	アラブ首長国連邦	カリファ科学技術研究大学工学部
		高等技術大学
		アラブ首長国連邦大学
		アブダビ大学工学部
	サウジアラビア	アブドラ国王科学技術大学（KAUST）
		◆ キング・サウド大学
	トルコ	* 中東工科大学工学部
中南米	ブラジル	◆* イスタンブール工科大学
		◆ サン・パウロ大学
		◆ ペルナンブコ州立大学
北米	アメリカ合衆国	* マサチューセッツ工科大学
		ワシントン大学工学部（シアトル）
		クレムソン大学
		◆ ライス大学
		* カリフォルニア大学（覚書のみ）
		南カリフォルニア大学 エリ・エディス ブロード再生医療・幹細胞研究センター
北米	アメリカ合衆国	ハーバード大学歯学部
		マサチューセッツ総合病院
	カナダ	◆ トロント大学
		* マクマスター大学

地域	国名／地域名	大学（機関）名
ヨーロッパ	イギリス	◆ グラスゴー大学
		ダーラム大学ビジネススクール・地理学科
		カーディフ大学工学部
		ケンブリッジ大学工学部
		国立海洋センター
	イタリア	◆*トリノ工科大学
		* ミラノ工科大学
		* 聖アンナ大学院大学バイオロボティクス研究所
		* トレント大学（覚書のみ）
	オーストリア	* ウイーン工科大学
		* グラーツ工科大学
	オランダ	* デルフト工科大学機械・海洋・マテリアル工学部
	スイス	◆*スイス連邦工科大学ローザンヌ（EPFL）
	スウェーデン	* チャルマーズ工科大学
		* ルレオー工科大学
		スウェーデン・イノベーションシステム庁（VINNOVA）
		* スウェーデン王立工科大学（KTH）
	スペイン	* マドリッド工科大学建築学部
		* バレンシア工科大学
	デンマーク	* デンマーク工科大学
	ドイツ	* ミュンヘン工科大学
		◆*シュツットガルト大学
		* カールスルーエ大学
		* ダルムシュタット工科大学
		* フリードリッヒ・アレキサンダー大学エアランゲン・ニュルンベルグ工学部
		* アーヘン工科大学数学部、コンピューターサイエンス及び自然科学部、建築学部、土木学部、機械工学部、資源及びマテリアル工学部、電気及び情報学部
		* ワイマール・バウハウス大学土木工学部
		* ブランデンブルク工科大学
		* ブラウンシュバイク工科大学
		* ヴォルツブルク大学数学・コンピューターサイエンス学部
	ノルウェー	◆*ノルウェー工科大学（NTNU）
	フィンランド	* アールト大学化学工学部、電気工学部、工学部、理学部
		◆*オウル大学
	フランス	◆ エコールポリテクニク
		* サントラル・スープレック-パリ・サクレー大学
		* エコール・アトランティック（旧エコール・デ・ミン・ド・ナント）
		* フランス国立応用科学院リヨン校（INSA Lyon）
		* エコール・デ・ボン・パリテク（ENPC）
		* エコール・ミン・パリ
		* 航空宇宙高等学院（ISAE）
		* エコール・セントラル・リヨン
		* 国立民間航空大学校（ENAC）
		国立パリ建築大学ラビレット校
		* トロワ工科大学
		* サヴォア・モンブラン大学
		* パリ・サクレー高等師範学校（旧カシャン高等師範学校）
		* コンピエーニュ工科大学
		* ポリテク パリ・サクレー-パリ・サクレー大学（旧：パリ南大学（パリ第11大学））
		* ボルドー大学
		ギュスターヴ・エッフェル大学
	ポーランド	国立原子核研究センター（NCNR）
	ルーマニア	トランシルバニア大学
		ビテシュティ大学 経済学・法学研究科、機械工学研究科、電子工学研究科
	ロシア	* サンクトペテルブルク国立大学
	EU（フランス・ベルギー・ポルトガル・ドイツ・ブルガリア）	* AUSMIP（国立パリ建築大学ラビレット校、ルーバン大学建築学部、リスボン工科大学建築学部、ミュンヘン工科大学、ソフィア建築・土木・測地学大学）

36カ国／地域 120件

※ *は単位互換および相互授業料不徴収、◆は全学協定 工学系研究科が担当している全学協定および部局協定を掲載

その他全学的な協定締結状況については下記国際本部HP参照

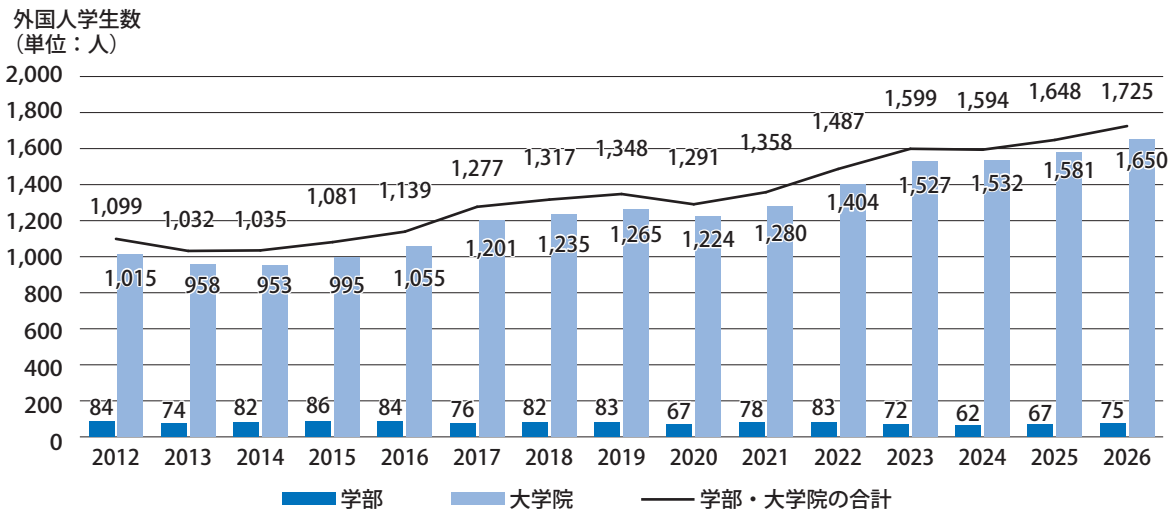
<http://kyoutei.adm.u-tokyo.ac.jp/SysKyotei/01/kyoutei/search>

(2) 外国人学生数（2026.5.1現在）（単位：人）

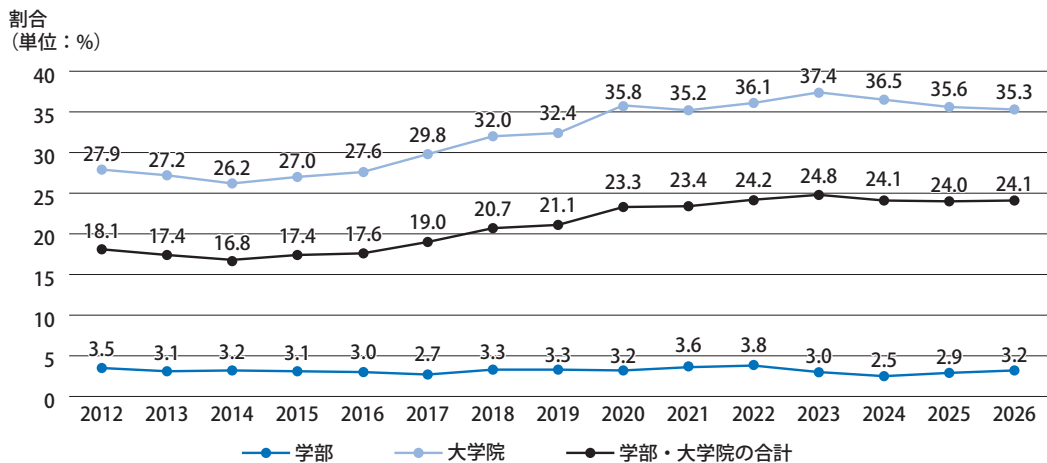
学科・専攻	学部学生	学部研究生	学部聴講生	学部特別聴講学生	学部計	修士課程	博士課程	大学院外国人研究生	大学院特別研究学生	大学院特別聴講学生	大学院研究生	大学院計	計
社会基盤学						72	75		6	11		164	164
建築学	1				1	52	56	10	5	9		132	133
都市工学		1			1	24	36	3	7	2		72	73
機械工学	2				2	77	104	1	17	11	2	212	214
機械情報工学	4				4								4
精密工学	5				5	31	32	1	4	3		71	76
システム創成学	5	1			6	73	70	5	7	5		160	166
航空宇宙工学	3				3	16	20	1	5	2	1	45	48
電気系						159	92	8	6	8		273	273
電子情報工学	13			1	14								14
電気電子工学	5			1	6								6
電子・情報系													
物理工学	6				6	11	15		1			27	33
計数工学	7				7								7
マテリアル工学	5				5	21	28	2	3			54	59
応用化学	6				6	25	16		2			43	49
化学システム工学	4				4	22	40	2	4	1		69	73
化学生命工学	4				4	19	26	3	1	1		50	54
先端学際工学							83		2			85	85
原子力国際						20	28	1	1	4	1	55	55
バイオエンジニアリング						15	34	1	3	4		57	57
技術経営戦略学						34	29	3	8	6		80	80
原子力						1						1	1
その他			1		1								1
計	【18】 70	【1】 2	【0】 1	【0】 2	【19】 75	【164】 672	【197】 784	【17】 41	【20】 82	【21】 67	【2】 4	【421】 1,650	【440】 1,725

※ 女性数について、【 】で内数

(3) 外国人学生数の推移（2026.5.1現在）（単位：人）



(4) 学生数に占める外国人学生割合の推移（2026.5.1現在）（単位：人）



※ 正規生のみ（研究生、聴講学生等を除く）

(5) 外国人学生国籍別一覧（2026.5.1現在）（単位：人）

地 域 (国数)	国 籍 等	学部・学部研究生： 学部特別聴講生： 学部聴講生					修士課程					博士課程					大学院 外国人研究生				大学院 研究生	大学院特別 研究学生	大学院 特別聴 講学生	計	計 (%)	
		国費	私費	政府	永住 者等	計	国費	私費	政府	永住 者等	計	国費	私費	政府	永住 者等	計	国費	私費	永住 者等	計	私費	私費	永住 者等			私費
アジア (18)	イ ン ド						7	5			12	6	13		1	20						9		3	44	1,491 (86.43%)
	インドネシア						4	9			13	3	20			23									36	
	韓 国	5	5		3	13	6	59		3	68	5	44		4	53	1	2		3	1	2			140	
	カンボジア						2				2										1			3		
	シンガポール						1	1			2	1	1		1	3								5		
	スリランカ						1	3			4	1	2			3								7		
	タイ						6	4			10	3	6			9							1	20		
	台湾		3			3		17			17		35		2	37		3		3		6			66	
	中国		18		37	55	2	418		25	445	16	502		20	538	1	15		16	2	34		3	1093	
	中国（香港）							6			6	1	4		1	6									12	
	ネパール											1	1			2									2	
	パキスタン						1	7			8		1			1									9	
	バングラデシュ						2	6			8	4				4									12	
	フィリピン						1	1			2	4	2			6	1			1					9	
	ベトナム						1	1			2		4		1	5					1			1	9	
	マレーシア	1				1	2	5			7	1				1									9	
	ミャンマー						3	1			4	1	1			2								1	7	
	モンゴル						1	5			6		2			2									8	
中近東 (8)	イスラエル														1	1									1	
	イ ラ ン												3			3									3	
	オ マ ーン											1				1								1		
	サウジアラビア												1			1								1		
	シ リ ア												1			1								1		
	ト ル コ						2	2			4	2				2	2			2				8		
	パレスチナ						1				1													1		
	ヨ ル ダ ン						1				1													1		
アフリカ (12)	ウ ガ ン ダ						1				1	1				1								2		
	エジプト							2			2	1	2		1	4	2			2		1		9		
	エチオピア																				1			1		
	ケ ニ ア																1			1				1		
	ス ー ダ ン						1	1			2		1			1			1					3		
	ト ー ゴ												1			1								1		
	ボ ツ ワ ナ											1				1								1		
	マ ラ ウ イ						1				1													1		
	南アフリカ											1				1								1		
	モザンビーク						1				1													1		
	モ ロ ッ コ																1			1				1		
	リ ビ ア						1				1									1				1		
オセアニア (2)	オーストラリア						1	1			2												1	3		
	ニュージーランド											1				1		1		1			1	3		
北米 (2)	ア メ リ カ		1			1	7	6			13		7			7	1	1		2				23		
	カ ナ ダ		1		1	2						1	3		1	5		1		1		1		9		
中南米 (12)	エクアドル											1				1								1		
	キューバ												1			1								1		
	グアテマラ																1			1				1		
	コスタリカ											1				1								1		
	コロンビア												1			1								1		
	チ リ						1				1	1				1							2			
	ニカラグア						1				1												1			
	ハ イ チ							1			1												1			
	ブラジル						1	1			2		1			1	2	1		3		1		7		
	ペ ル ー						3				3	2				2								5		
	ボ リ ビ ア						1				1						1			1				2		
	ヨーロッパ (24)	メキシコ												1			1								1	
アイスランド								1			1		1			1	1			1				3		
アイルランド								1			1													1		
アルバニア												1				1								1		
アルメニア													1			1								1		
イギリス								2			2		1			1	1			1		1		5		
イタリア													2			2						6	2	10		
ウクライナ										1	1													1		
ウズベキスタン								1			1													1		
オーストリア												1				1							7	8		
オ ラ ン ダ										1	1													1		
ギリシャ																							1	1		
ス イ ス													3			3						1	1	5		
スウェーデン													1			1					1		8	10		
ス ペ イ ン													1			1							3	4		
チ ェ コ																					1			1		
デンマーク																							2	2		
ド イ ツ												4	3			7					4		11	22		
ノルウェー																								1	1	
ハンガリー								1			1		1			1									2	
フィンランド							1				1														1	
フ ラ ン ス							3	6			9	1	4			5	1			1		10	20		45	
ポルトガル													2			2						2			4	
ルクセンブルク												1				1									1	
ロ シ ア													1			1									1	
計	78 カ国	6	28		41	75	68	574		30	672	70	681		33	784	17	24		41	4	82		67	1725	

7. 研究活動

(1) 外部資金等受入状況

区分	2022 年度		2023 年度		2024 年度		2025 年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
科学研究費助成事業	683	3,655,031	657	3,367,743	672	3,364,526	666	3,390,155
受託研究等	441	14,339,855	436	13,136,599	471	14,450,178	516	15,705,141
民間等との共同研究	590	5,447,379	621	6,737,063	654	7,607,706	663	7,466,297
寄附金	352	2,077,520	394	1,648,947	396	2,366,749	385	1,715,378
その他補助金等	74	792,245	54	738,228	63	1,026,689	75	5,277,844
計	2,140	26,312,030	2,162	25,628,580	2,256	28,815,848	2,305	33,554,815

(2) 寄付講座一覧 (2026.4.1現在) (単位：千円)

名称	寄附者	寄附総額	設置期間	設置専攻
都市持続再生学	三井不動産(株)、三菱地所(株)、森ビル(株)、住友不動産(株)、積水ハウス(株)、(株)日本政策投資銀行、(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店、東日本旅客鉄道(株)	138,000	2022.10.1 ~ 2027.9.30	都市工学
	三井不動産(株)、三菱地所(株)、森ビル(株)、(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店、積水ハウス(株)、東日本旅客鉄道(株)	115,000	(2017.10.1 ~ 2022.9.30)	
	三井不動産(株)、三菱地所(株)、森ビル(株)、(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、(株)竹中工務店、積水ハウス(株)、東京ガス(株)、(株)日立製作所、大成建設(株)	113,000	(2012.10.1 ~ 2017.9.30)	
	住友不動産(株)、東京建物(株)、三菱地所(株)、三井不動産(株)、森ビル(株)、(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店、東日本旅客鉄道(株)、東京電力(株)、東京ガス(株)、積水ハウス(株)	156,000	(2007.10.1 ~ 2012.9.30)	
	住友電気工業(株)、東海旅客鉄道(株)、(株)東光高岳、日本ガイシ(株)、三菱電機(株)	112,500	2023.6.1 ~ 2028.5.31	電気系工学
パワーフロンティア寄付講座	三菱電機(株)、住友電気工業(株)、日本ガイシ(株)、(株)東光高岳、東海旅客鉄道(株)	112,500	(2018.6.1 ~ 2023.5.31)	
	(株)日立製作所、三菱電機(株)、住友電気工業(株)	150,000	(2013.6.1 ~ 2018.5.31)	
	関西電力(株)、(株)日立製作所、三菱電機(株)、住友電気工業(株)	200,000	(2008.6.1 ~ 2013.5.31)	
	電源開発(株)、東芝エネルギーシステムズ(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立製作所、富士電機(株)、(株)明電舎	121,500	2023.6.1 ~ 2028.5.31	
ユビキタスパワーネットワーク寄付講座	東日本旅客鉄道(株)、東芝エネルギーシステムズ(株)、電源開発(株)、富士電機(株)、(株)明電舎、(株)日立製作所	136,500	(2018.6.1 ~ 2023.5.31)	電気系工学
	東日本旅客鉄道(株)、(株)東芝、電源開発(株)、富士電機(株)、(株)明電舎	112,500	(2013.6.1 ~ 2018.5.31)	
	東日本旅客鉄道(株)、(株)東芝	130,000	(2008.6.1 ~ 2013.5.31)	
	日本製鉄(株)、JFE スチール(株)、(株)神戸製鋼所	195,000	2022.10.1 ~ 2027.9.30	
	日本製鉄(株)、JFE スチール(株)、(株)神戸製鋼所	195,000	(2017.10.1 ~ 2022.9.30)	
サステナブル基盤材料マネジメント工学	(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店	250,000	2022.4.1 ~ 2027.3.31	建築学
	(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店	250,000	(2017.4.1 ~ 2022.3.31)	
建築生産マネジメント	(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店	250,000	2022.4.1 ~ 2027.3.31	建築学
	(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店	250,000	(2017.4.1 ~ 2022.3.31)	
	(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店	250,000	(2017.4.1 ~ 2022.3.31)	
i-Construction システム学	(一社)日本建設業連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)全国測量設計業協会連合会、(一社)日本建設機械施工協会	399,900	2024.10.1 ~ 2028.9.30	社会基盤学 精密工学
	(一社)日本建設業連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)全国測量設計業協会連合会、(一社)日本建設機械施工協会	306,000	(2021.10.1 ~ 2024.9.30)	
	(一社)日本建設業連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)全国測量設計業協会連合会、(一社)日本建設機械施工協会	311,850	(2018.10.1 ~ 2021.9.30)	
ブロックチェーンイノベーション	(株)グッドラックスリー、トヨタ自動車(株)、(株)三井住友フィナンシャルグループ、Casley Deep Innovations (株)、Sparkle AI (株)、渡辺創太	76,500	2024.2.1 ~ 2027.1.31	技術経営戦略学
	(株)グッドラックスリー、(株)スターマウンテン	41,000	(2022.2.1 ~ 2024.1.31)	
	(株)三井住友フィナンシャルグループ、(株)ホットリンク、マネーフォワードフィナンシャル(株)、(株)グッドラックスリー、(株)ジェイ・エス・エス、(株)ジッパー	90,000	(2018.11.1 ~ 2022.1.31)	
光量子情報処理学	日亜化学工業(株)	400,000	2019.4.1 ~ 2027.3.31	総合研究機構
	(株)アドバンテスト	90,000	2025.10.1 ~ 2028.9.30	
	(株)アドバンテスト	90,000	(2022.10.1 ~ 2025.9.30)	
アドバンテスト D2T	(株)アドバンテスト	90,000	(2019.10.1 ~ 2022.9.30)	システムデザイン 研究センター
	(株)アドバンテスト	90,000	(2019.10.1 ~ 2022.9.30)	
	(株)アドバンテスト	90,000	(2019.10.1 ~ 2022.9.30)	
復興デザイン研究体講座	復興調査設計(株)、アジア航測(株)	60,000	2024.4.1 ~ 2027.3.31	社会基盤学
	復興調査設計(株)、アジア航測(株)	60,000	(2021.4.1 ~ 2024.3.31)	
AI 経営寄付講座	PwC Japan (同)、(株)イトーキ	300,000	2024.6.1 ~ 2027.5.31	技術経営戦略学
	PwC Japan (同)	300,000	(2021.6.1 ~ 2024.5.31)	

名称	寄附者	寄附総額	設置期間	設置専攻
アントレプレナーシップ教育デザイン	(株)経営共創基盤、(株)松尾研究所、KDDI(株)	90,000	2024.7.1 ～ 2027.6.30	技術経営戦略学
	(株)経営共創基盤、(株)東京大学エッジキャピタルパートナーズ、(株)松尾研究所、KDDI(株)	120,000	(2021.7.1 ～ 2024.6.30)	
世界モデル・シミュレータ寄付講座	(株)スクウェア・エニックス、ソニーグループ(株)、日本電気(株)	550,000	2021.7.1 ～ 2026.6.30	人工物工学研究センター
ナノシステム集積技術の創製	(株)エフ・イー・ティー・ジャパン	150,000	2022.7.1 ～ 2027.6.30	システムデザイン研究センター
グローバル消費インテリジェンス	(株)リクルートホールディングス、カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)、東海東京証券(株)、東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)、(株)イトーキ	390,000	2022.12.1 ～ 2027.11.30	技術経営戦略学
インフラ長寿命化の科学	(一財) 上田記念財団	120,000	2023.4.1 ～ 2028.3.31	社会基盤学
LLM 寄付講座	Google Asia Pasific Pte.Ltd.	400 万米ドル	2024.10.1 ～ 2027.9.30	技術経営戦略学

(3) 社会連携講座一覧 (2026.4.1現在) (単位：千円)

名称	連携機関名	経費総額	設置期間	設置専攻
産業機械の創成	(株)小松製作所	373,659	2024.4 ～ 2029.3	機械工学
		373,049	(2019.4 ～ 2024.3)	
		582,170	(2007.4 ～ 2019.3)	
将来航空推進システム技術創成	(株) IHI	132,000	2025.4 ～ 2028.3	航空宇宙工学
		110,000	(2022.4 ～ 2025.3)	
		98,400	(2019.4 ～ 2022.3)	
		197,200	(2012.12 ～ 2019.3)	
ガラスの先端技術の創出	A G C(株)	105,000	2024.4 ～ 2027.3	人工物
		105,000	(2021.4 ～ 2024.3)	
		105,000	(2018.4 ～ 2021.3)	
		106,301	(2015.4 ～ 2018.3)	
フッ素および有機化学融合材料・生命科学講座	A G C(株)	105,000	2026.4 ～ 2029.3	化学生命工学
		105,000	(2023.4 ～ 2026.3)	
		105,000	(2020.4 ～ 2023.3)	
		105,000	(2017.4 ～ 2020.3)	
次世代の信号・電力伝達技術の創成	古河電気工業(株)	120,000	2024.4 ～ 2027.3	人工物
		125,000	(2021.2 ～ 2024.3)	
		120,000	(2018.2 ～ 2021.1)	
リスク俯瞰工学講座	(一財) 電力中央研究所	121,000	2023.4 ～ 2028.3	原子力
		150,000	(2018.4 ～ 2023.3)	
次世代運用テクノロジー	(株)大和証券グループ本社、大和証券(株)、(株)大和総研	78,000	2024.11 ～ 2027.10	システム創成学
		78,000	(2021.4 ～ 2024.3)	
		78,000	(2018.4 ～ 2021.3)	
インフラ材料・構造の次世代性能評価技術の開発	清水建設(株)、前田建設工業(株)、(株)コムスエンジニアリング、東日本旅客鉄道(株)、(一財)首都高速道路技術センター、鉄建建設鉄道(株)、(株)HRC 研究所、東電設計(株)、(株)奥村組、東京電力ホールディングス(株)	270,000	2025.4 ～ 2028.3	社会基盤学
		260,400	(2022.4 ～ 2025.3)	
		189,000	(2019.4 ～ 2022.3)	
統合廃炉工学講座	日立GEベルノバニュークリアエナジー(株)、東芝(株)、三菱重工業(株)、東京電力ホールディングス(株)	108,000	2025.4 ～ 2028.3	総合研究機構
		108,000	(2022.4 ～ 2025.3)	
		108,000	(2019.4 ～ 2022.3)	
次世代デジタルバイオ分析	TOPPAN ホールディングス(株)	146,520	2024.4 ～ 2027.3	応用化学
		250,000	(2019.6 ～ 2024.3)	
次世代電子顕微鏡法	日本電子(株)	82,950	2026.4 ～ 2029.3	総合研究機構
		81,300	(2023.4 ～ 2026.3)	
		79,100	(2020.4 ～ 2023.3)	
テクノロジー・インフォマティクスの高度化	ダイキン工業(株)	432,250	2024.4 ～ 2029.3	技術経営戦略学
		278,337	(2020.4 ～ 2024.3)	
次世代エネルギーインフラの創成	電源開発(株)、清水建設(株)、東芝(株)、(一財)日本海事協会、東京ガス(株)、中部電力(株)	270,000	2023.4 ～ 2028.3	社会基盤学
		225,000	(2020.4 ～ 2023.3)	
次世代農業機械の研究	(株)クボタ	255,000	2023.4 ～ 2027.3	機械工学
		105,000	(2020.4 ～ 2023.3)	
サステナブルなヒューマンセントリックものづくり～新ものづくりデザイン構築に向けて～	トヨタ自動車(株)	880,000	2026.4 ～ 2029.3	人工物
		1,214,450	(2020.5 ～ 2026.3)	
未来協創工学	(株)東芝、沖電気工業(株)	60,000	2023.6 ～ 2026.5	機械工学
		90,000	(2020.6 ～ 2023.5)	
次世代ジルコニア創出	東ソー(株)	240,000	2025.7 ～ 2028.6	総合研究機構
		533,250	(2020.7 ～ 2025.6)	
革新的コーティング技術の創生	日本ペイントコーポレートソリューションズ(株)	310,000	2025.10 ～ 2028.12	総合研究機構
		1,100,000	(2020.10 ～ 2025.9)	
次世代空調技術の創成	ダイキン工業(株)、(株)デンソー	259,500	2025.11 ～ 2028.10	総合研究機構
		366,250	(2020.11 ～ 2025.10)	
統合分子構造解析講座	花王(株)、ジーエルサイエンス(株)、(株)島津製作所、(株)ダイセル、高砂香料工業(株)、(株)ツムラ、日産化学(株)、日本電子(株)、(株)三井化学分析センター、(株)リカク、麒麟ホールディングス(株)、日本たばこ産業(株)、三井金属鉱業(株)、小林製薬(株)	210,000	2023.11 ～ 2026.10	応用化学
		280,000	(2020.11 ～ 2023.10)	

名称	連携機関名	経費総額	設置期間	設置専攻
材料表面の原子層制御工学	ダイキン工業(株)	220,000	2024.1 ~ 2027.3	総合研究機構
		170,000	(2021.1 ~ 2023.12)	
ポリマー材料開発の次世代統合工学	ダイキン工業(株)	882,667	2024.4 ~ 2027.3	総合研究機構
		560,125	(2021.4 ~ 2024.3)	
個別化保健医療	三菱 UFJ 信託銀行(株)、沢井製薬(株)、三菱ケミカル(株)、(株) Ambi	71,000	2025.4 ~ 2028.3	バイオエンジニアリング
		399,000	(2021.4 ~ 2025.3)	
次世代ものづくりアーキテクチャ	ダイキン工業(株)	377,557	2021.7 ~ 2026.6	人工物
Beyond 5G 価値共創講座	日本電気(株)	250,000	2021.12 ~ 2027.3	システム創成学
地方創生を加速する次世代ワイヤレス応用技術	NTT 東日本(株)	160,100	2022.1 ~ 2027.3	システム創成学
装身型生化学ラボシステム	(株)本田技術研究所、TOPPAN (株)、三洋化成工業(株)、日清食品ホールディングス(株)	190,985.9	2022.1 ~ 2027.3	バイオエンジニアリング
スキンエレクトロニクス社会実装講座	パラマウントベッド(株)	150,000	2022.4 ~ 2027.3	電気系工学
データ連成イノベーションリテラシー	(株)構造計画研究所、ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)、アビームコンサルティング(株)、(株)トラストアーキテクチャ、(株)村田製作所、(株)トーモク	136,812	2022.4 ~ 2027.3	システム創成学
グローバル水循環社会連携講座	サントリーホールディングス(株)、日本工営(株)	150,000	2025.4 ~ 2028.3	社会基盤学
		150,000	(2022.4 ~ 2025.3)	
環境調和型エネルギーシステム	(株)堀場製作所	230,000	2022.4 ~ 2027.3	電気系工学
福島沿岸地域デザイン研究体講座	東日本高速道路(株)、日産自動車(株)	75,000	2025.4 ~ 2028.3	社会基盤学
		90,000	(2022.4 ~ 2025.3)	
次世代スキルマネジメント手法の創出	テクノプロ・ホールディングス(株)	130,000	2022.10 ~ 2027.9	システム創成学
多様な主体が連携するサステナブルな地域共生型サービス・交流・行動システム	イオンモール(株)	78,000	2022.10 ~ 2026.7	都市工学
次世代型産業機械に向けた新材料技術の創成	ヒノデホールディングス(株)	70,000	2025.11 ~ 2029.3	人工物
		64,000	(2022.11 ~ 2025.10)	
既存建物情報のデジタル化による空間価値創造 (キャンパスマネジメント DX)	(株)アイスクウェア、(株)清和ビジネス、(株)ダイスネクスト、(株)フジタ、明豊ファシリティワークス(株)	114,700	2023.3 ~ 2027.3	建築学
建設の次世代数値シミュレーション	鹿島建設(株)	123,300	2023.4 ~ 2027.3	建築学
次世代軽量合金の創製	(株)UACJ	60,000	2026.4 ~ 2029.3	マテリアル工学
		60,000	(2023.4 ~ 2026.3)	
小型・超小型衛星におけるビジネスエコシステムの創成	古河電気工業(株)	252,750	2023.4 ~ 2028.3	航空宇宙工学
Beyond5G/6G に向けたネットワークスライシングの高度化の研究	京セラ(株)	250,000	2023.4 ~ 2028.3	システム創成学
エネルギー環境イノベーション実現	京セラ(株)	602,100	2023.4 ~ 2028.3	総合研究機構
新しい物理現象を用いた次世代環境配慮デバイスの開発	住友化学(株)	352,700	2023.4 ~ 2028.3	量子相エレクトロニクス研究センター
真にインクルーシブな自然体験学習システムの創成	ヒューリック(株)	120,000	2026.4 ~ 2029.3	システム創成学
		120,000	(2023.4 ~ 2026.3)	
民間宇宙ステーションにおける宇宙資源利活用に向けた研究	(株)デジタルブラスト	62,200	2023.7 ~ 2026.6	システム創成学
建物・インフラの安全を見守るミリ波モニタリングの開発	京セラ(株)	60,000	2023.7 ~ 2026.6	総合研究機構
次世代粉体プロセスシステムののためのデジタルツイン基盤技術講座	(株)構造計画研究所、(株)日清製粉グループ本社、昭和産業(株)、信越化学工業(株)、中外製薬(株)	76,450	2023.8 ~ 2026.7	原子力国際
持続可能な循環経済型未来社会デザイン講座	三菱電機(株)	127,500	2023.10 ~ 2026.9	電気系工学
物質サーキュレーション建設学講座	清水建設(株)	192,500	2023.10 ~ 2027.3	建築学
スマートビルシステム社会連携講座	(株)関電工、(株)クラフティア、新菱冷熱工業(株)、(株)大気社、ダイダン(株)、高砂熱学工業(株)、東京電力ホールディングス(株)、東洋熱工業(株)、三菱重工サーマルシステムズ(株)	245,025	2023.11 ~ 2028.3	建築学
国際下水疫学講座	塩野義製薬(株)、(株)島津製作所	216,000	2024.3 ~ 2027.3	水環境工学研究センター
コンテナ・マネジメント・サイエンス	Ocean Network Express Pte. Ltd.	900,000	2024.4 ~ 2027.3	システム創成学
炭素・窒素循環型社会の実現に貢献する次世代固体吸着剤の研究	(株)クボタ	113,850	2024.4 ~ 2028.3	総合研究機構
革新的デジタル技術による CCS モニタリング拠点の創成	ENEOS Xplora (株)	100,000	2024.4 ~ 2029.3	システム創成学
セメント系材料によるカーボンニュートラル推進	(株)安藤・間	100,000	2024.4 ~ 2029.3	建築学
RNA 創薬基盤研究講座	AGC (株)	105,000	2024.6 ~ 2027.5	化学生命工学
都市高速×次世代通信：未来のインフラ構築に向けた統合アプローチ	首都高速道路(株)	97,000	2024.6 ~ 2027.5	システム創成学
次世代資源循環ソリューションのためのデジタルツイン基盤技術講座	(株)クボタ	136,550	2024.8 ~ 2027.7	原子力国際
プロセスイノベーション生産科学	ダイキン工業(株)	243,000	2024.10 ~ 2029.3	機械工学
サプライチェーンの全体最適の科学と実践	TOPPAN ホールディングス(株)	360,000	2024.10 ~ 2027.9	技術経営戦略学
地下環境の持続可能な開発のための工学	(株)シンコーホールディングス	90,000	2024.10 ~ 2027.9	システム創成学
自律分散共創コミュニティ社会連携講座	NTT 東日本(株)	90,000	2024.10 ~ 2027.9	都市工学
電池サーキュラー・エコノミーの利用基盤創成	(株)J E R A	90,000	2024.12 ~ 2027.11	技術経営戦略学

名称	連携機関名	経費総額	設置期間	設置専攻
次世代都市国際研究体	NTT 東日本(株)	90,000	2025.3 ~ 2028.2	社会基盤学
未来社会の鋼板創成を支えるスマートデジタルツイン	日本製鉄(株)、JFE スチール(株)、(株)神戸製鋼所	180,000	2025.4 ~ 2028.3	機械工学
高エネルギー電磁波遮蔽・セキュリティ工学	(株)電磁シールド研究所、高光産業(株)	120,000	2025.4 ~ 2028.3	ナノシステム集積センター
AI 技術を活用して持続発展する次世代生産システム運用基盤の構築	(株)デンソー	120,000	2025.4 ~ 2029.3	人工物
阿蘇・九重山における火山連続モニタリング新規技術の開発研究拠点	四国電力(株)	110,000	2025.4 ~ 2030.3	システム創成学
持続可能なエネルギー資源開発のための先進的貯留層工学	(株) INPEX	100,000	2025.4 ~ 2030.3	システム創成学
ナノ材料機能エネルギーデバイス	(株) GCE インスティテュート	10,775	2025.4 ~ 2026.7	応用化学
Advanced Semiconductor Creation (ASC) Program	Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited (TSMC)	313,316	2025.4 ~ 2030.3	システムデザイン研究センター
未来エネルギーインフラ材料高度信頼性探求拠点	(株)神戸製鋼所、JFE スチール(株)、一般財団法人日本海事協会、日本製鉄(株)、(株) IHI プラント、(株) INPEX、ENEOS Xplora (株)、カナデビア(株)、川崎重工業(株)、JFE エンジニアリング(株)、株式会社 JERA、東京ガスネットワーク(株)、(株)名村造船所、日鉄エンジニアリング(株)、日鉄パイプライン&エンジニアリング(株)、三菱重工業(株)、石油資源開発(株)	350,000	2025.5 ~ 2030.4	システム創成学
原子力 AI 学講座	日立 G E ベルノバニュークリアエナジー(株)	90,000	2025.7 ~ 2028.6	原子力
キャンパステストベッドを活用する次世代情報通信技術の研究	NEC ネットスアイ(株)	90,000	2025.7 ~ 2028.6	システム創成学
未来のコミュニケーションの創造	大日本印刷(株)	130,650	2025.8 ~ 2028.7	システム創成学
意味的価値や社会的価値を生み出すデザインエンジニアリング	三菱電機(株)、NEW STANDARD (株)	169,950	2025.9 ~ 2029.3	機械工学
次世代海洋建設技術の創出	東洋建設(株)	79,650	2025.10 ~ 2028.9	社会基盤学
放射線応用技術のイノベーション	(株)アトックス	90,000	2026.1 ~ 2028.12	原子力
建設用 3D プリントによるコンクリート構造の革新	東日本旅客鉄道(株)、(株)大林組、大成建設(株)、清水建設(株)、鹿島建設(株)、首都高速道路(株)	138,000	2026.4 ~ 2029.3	社会基盤学
航空宇宙革新構造設計	(株) IHI エアロスペース	149,994	2026.4 ~ 2029.3	航空宇宙工学
協調的半自動物流支援基盤の構築	鴻池運輸(株)	60,000	2026.4 ~ 2029.3	人工物
次世代レーザー研磨技術の創成	(株)和井田製作所	75,000	2026.4 ~ 2029.3	人工物
エネルギーレジリエンス学の構築	(株)日立製作所	198,000	2026.4 ~ 2029.3	レジリエンス工学研究センター

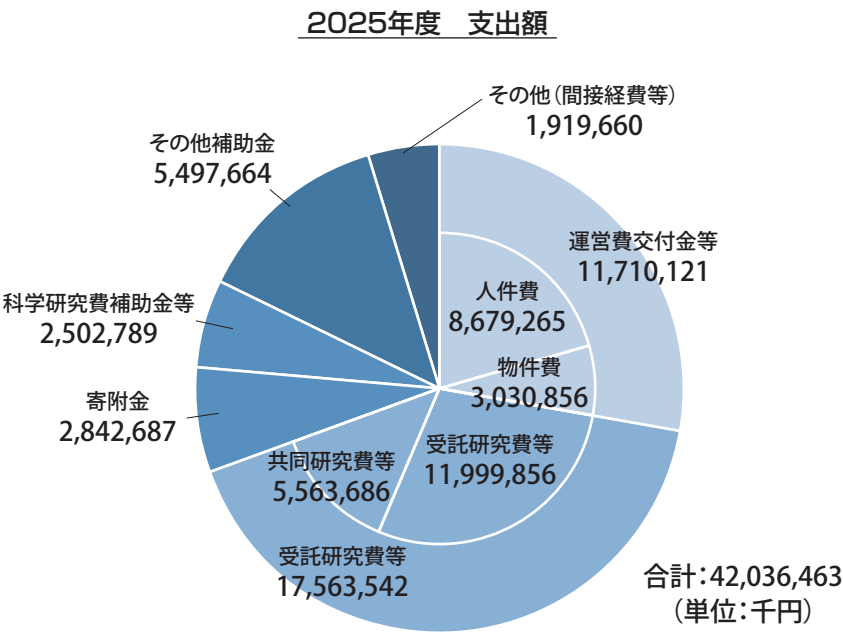
(4) 国立研究開発法人連携講座一覧 (2026.4.1 現在) (単位：千円)

名称	連携機関名	経費総額	設置期間	設置専攻
創発物性科学	国立研究開発法人理化学研究所	490,000	2025.4 ~ 2032.3	量子相エレクトロニクス研究センター
		420,000	(2018.4 ~ 2025.3)	
		470,400	(2010.4 ~ 2018.3)	
原子力安全マネジメント学講座	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	148,465	2023.4 ~ 2028.3	原子力国際
		84,000	(2020.4 ~ 2023.3)	

8. 財政等

(1) 支出額 (単位：千円)

区 分	2023年度	2024年度	2025年度
運営費交付金等	11,192,594	12,267,450	11,710,121
人件費	8,653,037	8,956,989	8,679,265
物件費	2,539,557	3,310,461	3,030,856
受託研究費等	14,297,119	16,868,285	17,563,542
受託研究費等	9,182,305	11,433,465	11,999,856
共同研究費等	5,114,814	5,434,820	5,563,686
寄附金	2,129,819	2,323,725	2,842,687
科学研究費補助金等	2,671,228	2,414,922	2,502,789
その他補助金	1,034,439	1,563,736	5,497,664
その他（間接経費等）	2,034,702	2,156,968	1,919,660
計	33,359,901	37,595,086	42,036,463



(2) 土地・建物面積 (2026.4現在)

区 分	本 郷	東海（原子力専攻）	柿岡（柿岡教育研究施設）
所 在 地	文京区本郷 7-3-1	茨城県那珂郡東海村白方白根 2-22	茨城県石岡市柿岡 414
敷 地 面 積	(約) 92,000 m ²	29,924 m ² (借入 26,621 m ²)	471,931 m ²
建 物	棟数	33 棟	20 棟
	面積 (建て)	36,212 m ²	7,714 m ²
	面積 (延べ)	199,611 m ²	14,391 m ²

9. 広報・情報発信

(1) 刊行物一覧 (<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/about/info/publications>)



学科ガイダンスブック

工学部希望の教養学部生向けの冊子です。

配布対象：教養学部生



Ttime! (Anthology)

Ttime!は高校生・予備校生・大学生および先生方が対象の工学部の広報誌です。

配布対象：高校生、予備校生及び一般

刊行物に関するお問い合わせ：広報室 (kouhou@pr.t.u-tokyo.ac.jp)

(2) 公式ホームページなど

工学部・工学系研究科

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/>

英語ページ

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/en/>

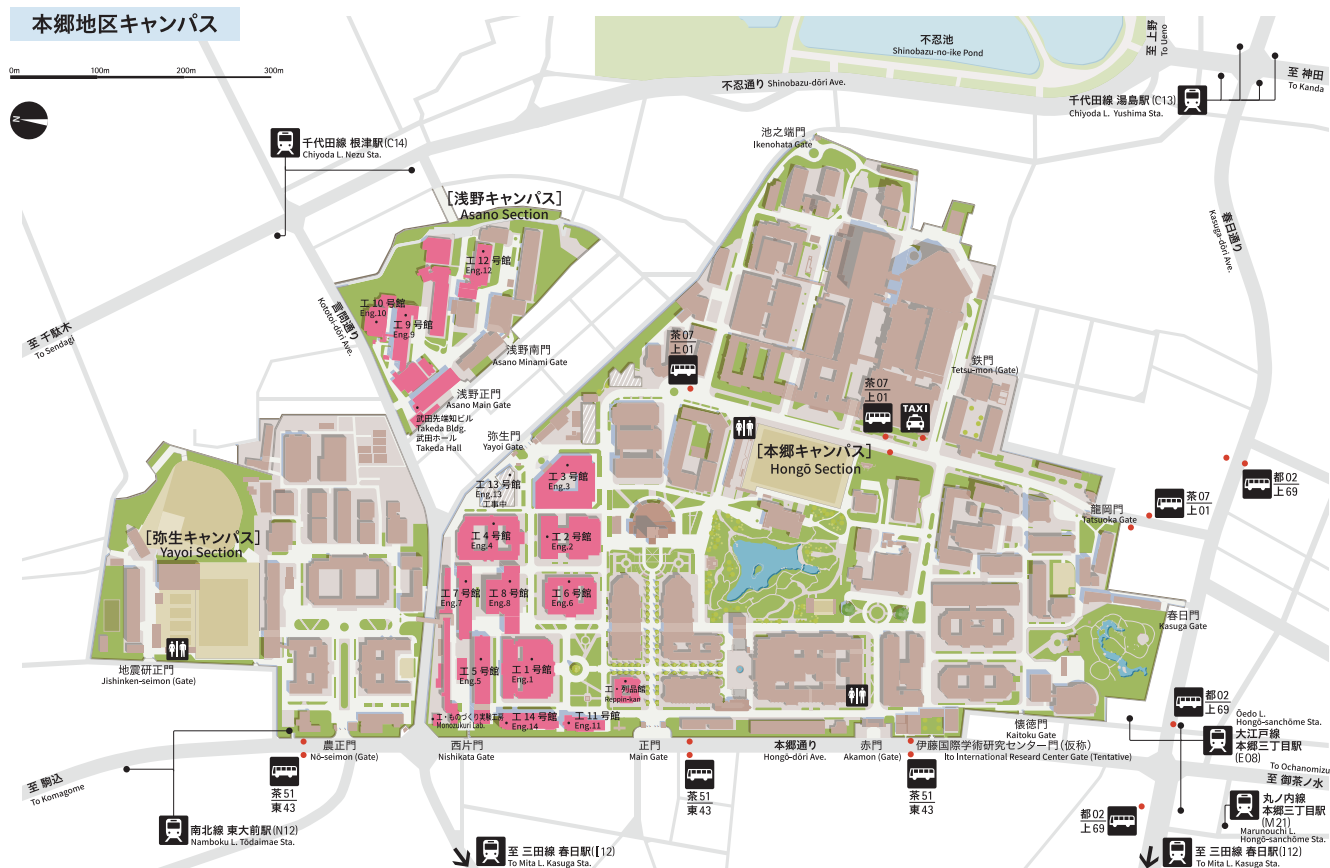
X (旧Twitter)

https://x.com/eng_univ_tokyo

YouTube

<https://www.youtube.com/channel/UCpdEaqyqZQK25ly-oNluUCA/>

本郷キャンパスマップ・アクセス



◆地下鉄利用

- 本郷三丁目駅（地下鉄丸ノ内線）徒歩10分
- 本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）徒歩10分
- 根津駅（地下鉄千代田線）徒歩5～10分
- 東大前駅（地下鉄南北線）徒歩10分
- 春日駅（地下鉄三田線）徒歩10分

◆バス利用

御茶ノ水駅（JR中央線、総武線）

都バス茶07東大構内行

竜岡門、東大病院前、東大構内バス停 下車

都バス茶51駒込駅南口行、又は東43荒川土手操車所前行

東大赤門前、東大正門前、東大農学部前バス停 下車

上野駅（JR山手線、その他各路線）

都バス上01東大構内行 上野公園山下（上野公園）バス停から乗車

竜岡門、東大病院前、東大構内バス停 下車

御徒町駅（JR山手線、その他各路線）

都バス都02大塚駅前行

湯島四丁目、本郷三丁目駅前バス停 下車

都バス上69小滝橋車庫前行 上野公園バス停から乗車

湯島四丁目、本郷三丁目駅前バス停 下車



2026概要